

HITACHI
—品質を大切にすぐ技術の日立—

新商品情報・商品選定など、家電品のお買物相談を承ります。
☎0120-312111
お買物相談センター（エコーレスダイヤル）

株式会社 日立 家電
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

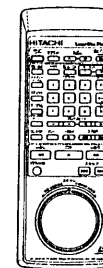
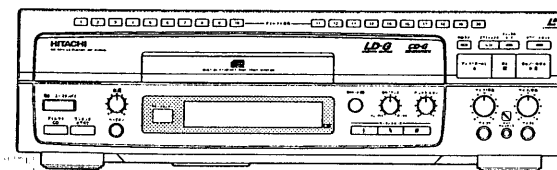
株式会社 日立 製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

取扱説明書

HITACHI
—品質を大切にすぐ技術の日立—

日立マルチレーザーディスクプレーヤー CD CDV CD-G LD LD-G PLAYER VIP-KY50G形

NTSC



このたびは日立マルチレーザーディスクプレーヤー、VIP-KY50Gをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに保存してください。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。
また、CD-ROMは再生できません。

目次

ページ

操作前の準備	特長	2	
	安全にお使いいただくために	3	
	使用上のご注意	4	
	ディスク取り扱い上のご注意	5	
	付属品を確かめる	5	
	ディスクの種類	6	
	接続のしかた	8	
	各部の名称と働き	10	
	基本操作	画面表示について	14
		LD/CDV/CDを見る・聞くには	16
LDカラオケディスクを楽しむには		20	
CD/CDVカラオケディスクを楽しむには		21	
通常のステレオディスクでカラオケを楽しむには		22	
カラオケに便利な機能		23	
別のカラオケ機器を使用するには		25	
LD/CDグラフィックスを楽しむには	26		
応用操作	チャプタースキップ、トラックサーチ	28	
	タイムナンバーサーチ	29	
	スピードスキャン	30	
	静止画/コマ送り	31	
	マルチスピード	31	
	フレームサーチ	32	
	区間リピート再生	33	
	リピート再生	34	
	プログラム再生	35	
	ダイレクトCD	37	
トラックサーチ	38		
コンピュ/オートプログラムエディット	40		
その他	故障かな…とお考えの前に	42	
	仕様	46	
	保証とアフターサービスについて	49	
	索引	50	

特長

豊富なカラオケ機能

サブコードデコーダを搭載

LDやCDの再生に加え、サブコードグラフィックス対応ディスクが楽しめます。シナリオディスクでは、映画の台詞(せりふ)を表示することができます。語学の勉強などに便利です。

CDグラフィックスカラオケディスクでは、歌詞スーパーが映し出され、いっそうカラオケの楽しみが広がります。

普通の音楽ディスクもカラオケとして楽しめるワンタッチカラオケ

ワンタッチカラオケボタンを押すと普通の音楽ディスクの歌手の声が小さく再生され、カラオケディスクとして楽しめます。

歌いたい曲を一発で選曲できるダイレクト選曲

20ボタンにより、20曲以内であればワンタッチで選曲できます。

映画やカラオケの雰囲気盛り上げるサラウンド機能シアター、カラオケ、ミュージックの3つのモードがあります。劇場の雰囲気映画を楽しんだり、ミュージックやカラオケで雰囲気を盛り上げてカラオケが楽しめます。これらのサラウンド機能は、最新のデジタル技術であるDSP(デジタルシグナルプロセッサ)を使用しています。音をデジタル処理していますので、品質の高い音場再生を実現しています。

自分の声に合わせて再生の音程が変えられるキーコントロール

キーコントロールボタンを押すことにより音程を高低11段階に調整できます。

収録曲のイントロ部分を次々と聞けるイントロスクラン

曲の初めから10秒間ずつ再生します。曲名を見たり、イントロを聞くことができます。

曲間演出

カラオケモードでは、停止中や一時停止中にマイクの絵が画面に現われ、ムードを一層盛り上げます。

外部入力機能

お手持ちのカラオケ機器を本機に接続すると、カラオケ機器からの音声にも本機のカラオケに便利な機能が働きます。

LD(レーザーディスク)では

好きなチャプターを好きな順序で楽しむプログラム再生
最大24チャプターを並べ変えて再生できます。

繰り返して再生するリピート再生

指定した区間を繰り返し再生するA-Bリピート再生、1チャプターだけを繰り返し再生する1チャプターリピート再生、ディスク片面を繰り返し再生する片面リピート再生、プログラムを繰り返し再生するプログラムリピート再生ができます。また、後で再生を始める位置に戻るメモリーリピート機能があります。

再生の速さと向きを変えて楽しむマルチスピード再生(CAVディスクのみ)

低速から高速まで9段階のスピードが選べ、再生の方向(正、逆方向)も指定できます。

CD(コンパクトディスク)では

ダイレクトCD

ダイレクトCD機能を使うと、再生/一時停止ボタン(▶/||)を押してから音が出るまでの時間が、通常状態に比べて短縮されるのでCDを続けて再生する場合に大変便利です。このとき、ビデオ系の電源も切れ、よりピュアなオーディオ再生になります。

好きな曲(トラック)を好きな順序で楽しむプログラム再生

最高24曲を並べ変えて再生できます。

テープ編集に便利なコンピュー/オートプログラムエディット機能

録音するテープの長さを指定すると、録音時間内に再生できる曲をプログラムします。

繰り返して再生するリピート再生

指定した区間を繰り返し再生するA-Bリピート再生、1トラックだけを繰り返し再生する1トラックリピート再生、ディスクを繰り返し再生するディスクリピート再生、プログラムを繰り返し再生するプログラムリピート再生ができます。また、後で再生を始める位置に戻るメモリーリピート機能があります。

ディスクの最初からの再生時間(ABS時間)を探して再生するABSサーチ

ディスクの最初から聞きたい部分が始まるまでの時間を指定すると、そこから再生が始まります。

CDV(映像/音声付きコンパクトディスク)では

*ビデオパート(映像/音声部分)を最初に再生します。

ビデオパート: CLV再生と同じ機能です。

オーディオパート: ABSサーチ機能を除いたCD再生と同じ機能が使えます。

その他の特長

続きのシーンがすぐに出るラストメモリー機能

LD再生中に電源スイッチを押してOFFにすると、その場面の少し手前をメモリーします(ラストメモリー)。再び電源をONにして再生/一時停止ボタンを押して再生すると、メモリーした場面から再生します。

多様なディスクの登場に対応

通常のLD(30cm、20cm)、CD(12cm)、CDV(12cm)はもちろん、薄型20cmLD、8cmCDシングルもアダプターなしで再生できます。

安全にお使いいただくために

●お取り扱い上のご注意

国内でのみご使用ください

本機は日本国内専用仕様です。使用電源は交流100Vです。(大形クーラー用などの200Vコンセントは使用しないでください。大変危険です。)

一般家庭用でのみご使用ください

本機は一般家庭用専用仕様です。例えば業務用への使用、あるいは車両、船舶への搭載等は絶対しないでください。

プレーヤーを使わないとき

ディスクをプレーヤーより取り出しておいてください。

●安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードに傷をつけないようにご注意ください。またコードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

異物を入れないでください

ディスクテーブル部や通風孔などに、金属類や燃えやすいものを差込んだり、落としたりすると感電や火災の原因になります。

中をあけないでください

電圧の高い部分がありますので、危険です。

長時間ご使用にならないとき

安全のために必ず電源コードのプラグを抜いてください。

接続機器について

プレーヤーに接続して使用する機器の取扱説明書もよく読んでください。

ディスク取り扱い上のご注意

ディスク取り扱い上のご注意は、5ページに記載してありますので、このページとあわせてご覧ください。

異常なときは使わないでください

煙が出ている、変な音やにおいがするなど異常なときは、すぐに電源コードのプラグを抜き、販売店にご連絡ください。

水は禁物

プレーヤーの上に水の入った容器を置かないでください。万一、内部に水や液状のものが入った場合、すぐに電源コードのプラグを抜き、販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら

すぐに電源コードのプラグを抜いてください。また、このときアンテナ線には危険ですから絶対に触れないでください。

衝撃をあたえないでください

使用上のご注意

再生中は本機を絶対に動かさないでください

再生中はディスクが高速回転しているため、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。

本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクテーブルをプレーヤーに戻し電源スイッチをOFFにし、表示窓の「OFF」インジケーターが消えたら電源コードを抜いてください。

電源について

AC100Vの家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。

電源コードについて

電源コードを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを折り曲げたり、重い物をのせたりしないでください。

設置する場所

- ・組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ・ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- ・テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

その他、次のような場所は避けてください

- ・直射日光が当たる所
- ・湿度の多い所や風通しの悪い所
- ・極端に暑い所や寒い所
- ・振動のある所
- ・ほこりの多い所
- ・油煙、蒸気、熱などが当たる所(台所など)

浮遊物の多い所も避けてください

本機内の対物レンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正常な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。詳細は、お買い求めの販売店にご相談ください。

重い物をのせないでください

本機の上に重いものをのせないでください。

熱を受けないようにしてください

アンプなど、熱を発生する機器の上へのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚(ホコリをかぶらない程度)に入れてください。

密閉したラックに入れないでください

密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

通風孔をふさがらないでください

通風孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通風孔はふさがらないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

結露について

冬期などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると内部(動作部やレンズ)に水滴がつかます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1-2時間放置し、本機の温度を室温にたもてば水滴が消え再生できるようになります。夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接当たると結露が起ることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

超音波加湿器について

本機の周囲での超音波加湿器のご使用はさけてください。本機の周囲で使用いたしますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空气中に飛散し、本機の対物レンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがありますのでご注意ください。

本機を使わないときは電源を切っておいてください

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
また、長時間テレビを見るときも電源は切ってください。FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入ることがあります。本機を使用しないときは電源を切ってください。

本機のお手入れ

本機の表面は柔らかい布で乾ふきしてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。また、化学そうきんなどをお使いの場合は、化学そうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は、電源スイッチを「入/切」するか、電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

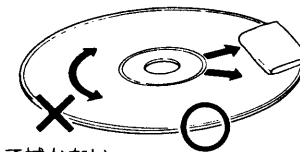
ディスク取り扱い上のご注意

■ディスクの持ちかた

両手で持つときは、ディスクの両端をはさんで持ちます。片手で持つときは、中央の穴と外周部を指ではさんで持ちます。ディスクのレーベル面に指紋や汚れが付いていても、記録された信号には影響しませんが、信号記録面(文字やマークなどがついていない面)が汚れていると反射光が弱くなり、画質や音質が低下することがあります。

■お手入れ

より良い画質と音質をお楽しみいただくため、ディスク面が汚れた場合は柔らかい布などで拭き取ってください。拭くときは、必ずディスクの内側から外側に向かって拭いてください。従来のレコードのように円周に沿って拭かないでください。



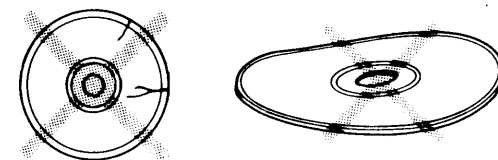
円周に沿って拭かない
内側から外側に向かって拭く

- レコードクリーナー、ベンジン、シンナー、静電気防止剤等は使わないでください。



■ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない

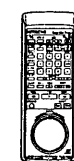
ひび割れや変形または、接着剤等で修復されたディスクは危険ですから、絶対に使用しないでください。また、レコードスプレー、静電気防止剤等は、ひび割れの原因になりますので使用しないでください。



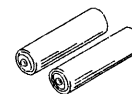
付属品を確認する

包装をといたら、まず次の付属品がそろっているかを確認してください。

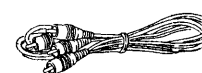
リモコン



単4乾電池 (R03/UM-4)



オーディオコード



ビデオコード

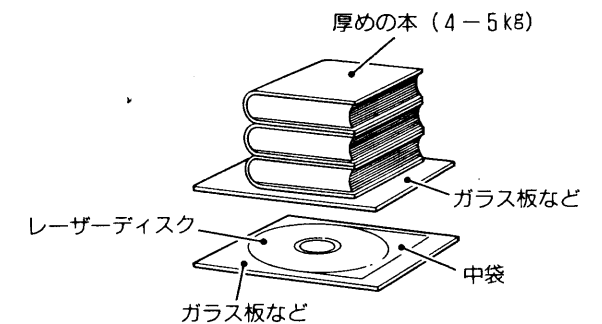


- 取扱説明書
- 保証書
- ご相談窓口一覧表

■ディスクの保管

使用後はディスクをプレーヤーから必ず取り出して、ジャケットにしまい、垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねておくとディスクがそる場合があります。直射日光が当たる所、高温多湿な所などに置かないでください。

- レーザーディスクが変形してしまった場合は、ディスクを中袋に入れてガラスなどの平らな板ではさみ、4-5kgの重しをして1日ほどそのままにしてください。そのなどが軽減される場合があります。









■ディスクにキズをつけない

ディスクには絶対にキズをつけないでください。また、シールなども貼らないでください。

ディスクの種類

本機で再生できるディスクの種類

本機は、マルチ レーザーディスク プレーヤーです。
本機では、次の5種類のディスクを再生することができます。
●マークはディスクのレーベル、またはジャケットに付いています。

マーク	ディスク	サイズ	記録面	音声記録方式	映像記録方式	その他
	CD (コンパクトディスク) シングル	8 cm	片面	デジタル (最大20分)	——	TOC (*1)
	CD (コンパクトディスク)	12 cm	片面	デジタル (最大74分)	——	TOC
	CDグラフィックス(*6) GRAPHICS	8 cm、 12 cm	片面	デジタル (最大20分)、 デジタル (最大74分)	——	TOC サブ コード
 または 	CDVビデオシングル VIDEO SINGLE DISC	12 cm	片面	デジタル (最大5分)	CLV (*3) (最大5分)	TOC
	CDV (CD VIDEO)	12 cm	片面	デジタル (最大20分)	CLV (*3) (最大5分)	
	TOC付きLD (CD VIDEO LD)	30 cm、 20 cm	両面、 片面	デジタル/アナログ	CAV (*2) CLV	TOC
 または 	LD (レーザーディスク)	30 cm、 20 cm	両面、 片面	デジタル/アナログ(*4) またはアナログのみ	CAV、CLV	——
	LDグラフィックス(*5) LD-G LASER DISC GRAPHICS	30 cm、 20 cm	両面、 片面	デジタル/アナログ	CAV、CLV	TOC、 サブ コード

■LD用語

チャプターナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

●ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

フレームナンバー

CAVディスクのすべてにフレームごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

CLVディスク、またはTOC付きのCAVディスクに記録された、ディスクの最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

■CDV/CD用語

トラックナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けした曲番のことです。CDVディスクではオーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。希望の曲を素早く見つけるトラックサーチなどの操作ができます。

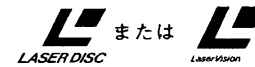
TOC (*1)

すべてのCD、CDVディスクには音声信号以外のTOC (Table Of Contents) という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

●LDディスクにもTOCが記録されているものがあります。

■LD (レーザーディスク)

本機では右のマークの付いたレーザーディスクをご使用ください。このマークはレーザーディスクの統一マークです。



レーザーディスクマークの付いたプレーヤーおよびディスクは同じテレビ方式に適合したものであれば互換性があります。レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク (CAV) (*2) と長時間ディスク (CLV) (*3) があります。

CAV (*2)

ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク/CAV〕、または〔Standard Play〕と表示されています。

ディスクの1周に1画面が記録されていて、一定回転 (一定の角速度: Constant Angular Velocity) -1800rpm- で再生されます。静止画再生、マルチスピード再生などの特殊再生に適しています。再生時間は片面最大30分 (30cmディスク) 最大54000 フレームが記録され、それぞれのフレームには1から54000のフレームナンバーが付いています。

●再生時間はディスクの内容により異なります。

CLV (*3)

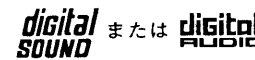
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク/CLV〕、または〔Extended Play〕と表示されています。

一定の線速度 (Constant Linear Velocity: CLV) で信号が記録されていて、内周 (回転速度1800rpm) から外周 (回転速度600rpm) 方向にディスクの回転速度を変えながら再生します。従って、再生時間は片面最大60分 (30cmディスク) と標準ディスクに比べて長くなっています。ディスクの最初からの経過時間に応じてタイムナンバーが記録されています。

●再生時間はディスクの内容により異なります。

デジタル音声付きレーザーディスク (*4)

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。



アナログ音声信号に加えて、デジタル信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。デジタル、アナログの2種類の音声は異なった周波数帯域を使用してディスクに記録されています。

デジタル音声付きレーザーマルチオーディオディスク

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。



または
digital と MULTI AUDIO

デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声記録されています。デジタル音声とアナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

レーザーディスクグラフィックス (*5)

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。



映像や音声信号を記録する場所以外にサブコードという記録場所があります。このサブコードに映画の台詞や歌の歌詞などの信号が記録されたディスクです。シナリオディスクでは、映画の台詞を表示してお楽しみいただけます。

■CDグラフィックス (*6)

ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークが表示されています。



音声信号を記録する場所以外にサブコードという記録場所があります。このサブコードにカラオケ用の歌詞やカラオケ演奏をより上げるグラフィックス (絵) が記録されたディスクです。

■CDV (ビデオ付きコンパクトディスク)

- ビデオパート付きのCDです。CDVの再生時間、25分のうち20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声記録されています (オーディオパート)。残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声記録されています (ビデオパート)。
- ビデオシングルは、最大5分の映像とデジタル音声記録されています。

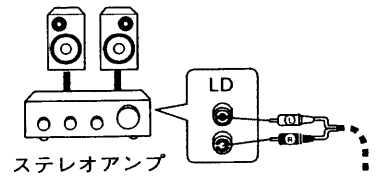
本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式 (PAL、SECAM) 表示のディスクは使用できません。

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル (有償、無償を問わず) することは法律により禁じられています。

接続のしかた 図の1または(1)、2でカラオケが楽しめます。

■ステレオアンプを接続する場合

コンパクトディスクやレーザーディスクの音声をより良く再生するためには、ステレオアンプとの接続をおすすめします。本機の音声出力端子とステレオアンプのCD、VDP、LD、AUXなどの入力端子と接続します。(PHONO入力端子には絶対に接続しないでください。)

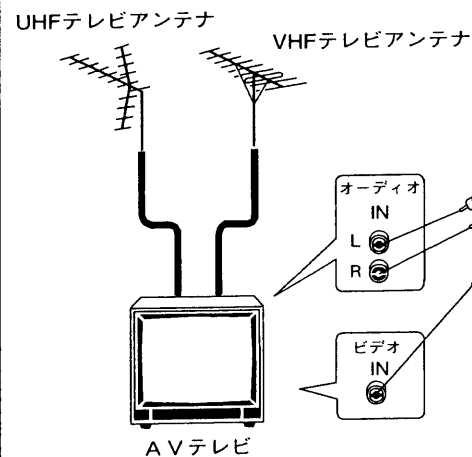


■アッテネータースイッチの使いかた



通常はOFFの位置で使います。テレビやステレオシステムに接続した場合、音がひずんで聞きづらいとき、ON側にしてください。プレーヤーの音声レベルを約1/2にします。

1. 映像/音声入力のあるAVテレビを使用する場合



接続方法:

- ① 本機の映像出力端子とAVテレビ(またはモニターテレビ)の映像入力端子を接続します。
- ② 本機の音声出力端子とAVテレビの音声入力端子を接続します。ご使用になっているテレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

付属のオーディオコード

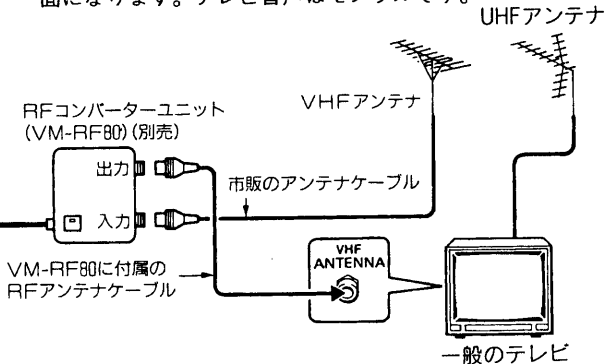
付属のオーディオコード

付属のビデオコード
白(音声)
黒(DC出力)
黄(映像)
VHFアダプター端子

2. 最後に電源コードを接続してください。

(1) 映像/音声入力の無い一般のテレビを使用する場合

別売りのRFコンバーターユニット(型番VM-RF80)を使用して、本機のVHFアダプター端子と接続します。
● 本機の電源を入ると、LD/CDV/CD再生の画面になります。テレビ音声はモノラルです。



- テレビは、1チャンネル又は2チャンネルに合わせてください。(例: 東京地域: 2チャンネル、大阪地域: 1チャンネル)
- テレビを見るときは、本機の電源を切ります。
- この接続では、LD/CDV/CD再生をしながらテレビ放送は見られません。

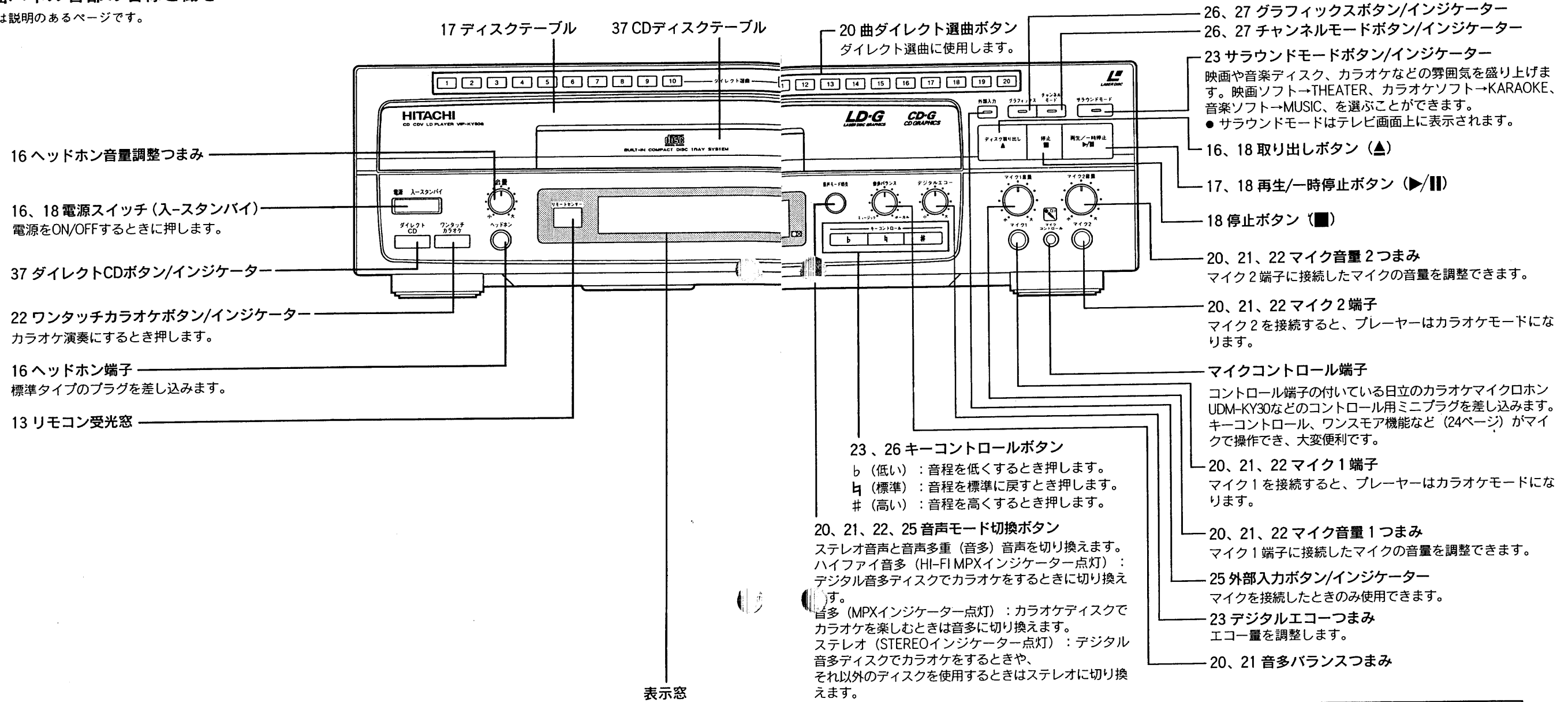
ご注意:

- テレビによっては、LDディスクを再生すると画面にしま状のノイズが発生することがあります。その場合はアンテナケーブルを電源コードから遠ざけてノイズがなくなる位置でご使用ください。
- CDをダイレクトCDモードで聞く場合、使用するテレビによっては音声が出ない場合があります。ダイレクトCDをOFFにして聞いてください。
- テレビによっては、ディスクの音声やマイクからの音がひずむ場合があります。この場合は背面パネルのアッテネータースイッチをON側にしてください。

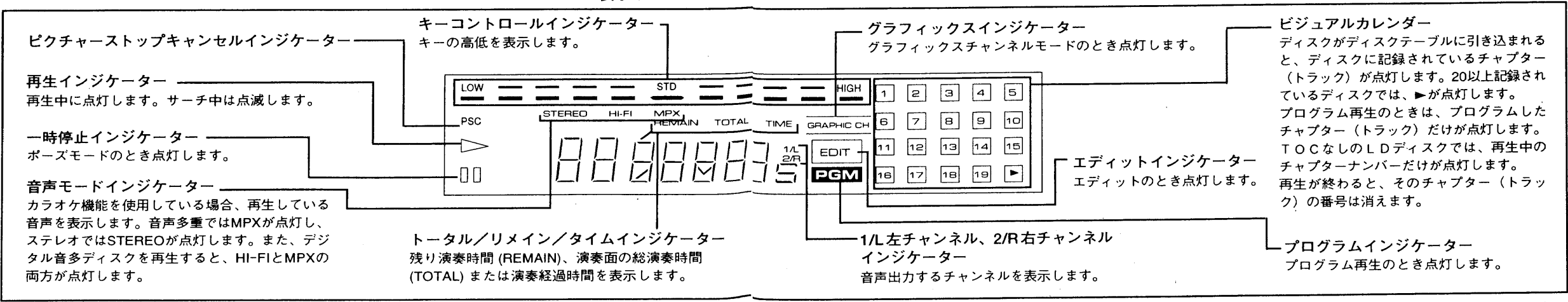
各部の名称と働き

前面パネル各部の名称と働き

数字は説明のあるページです。



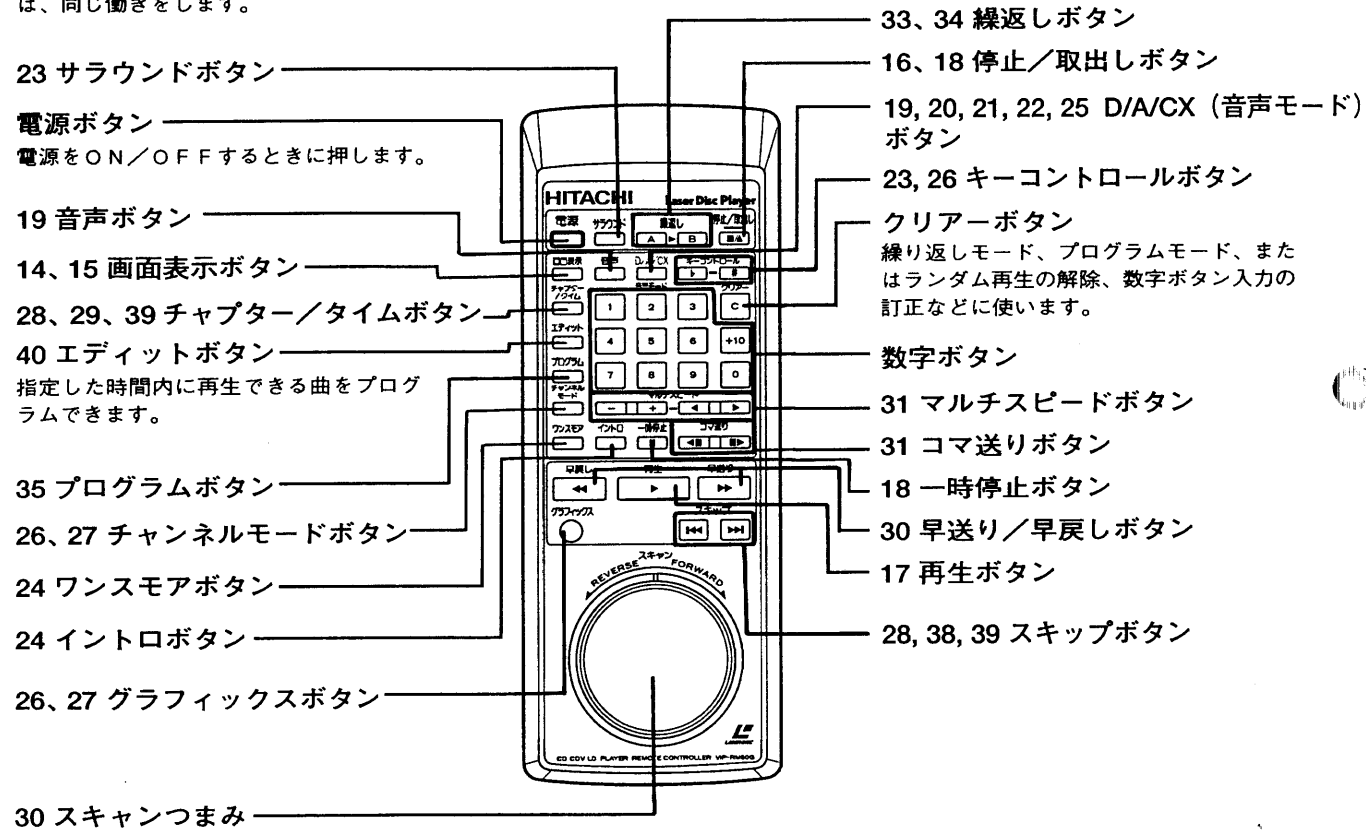
操作前の準備



各部の名称と働き

リモコン各部の名称と働き

数字は説明のあるページです。
リモコンと前面部で同じ名称やマークが付いているボタンは、同じ働きをします。

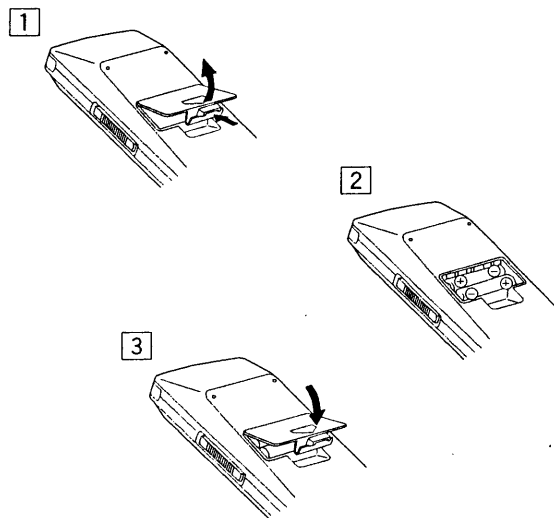


リモコンに電池を入れる

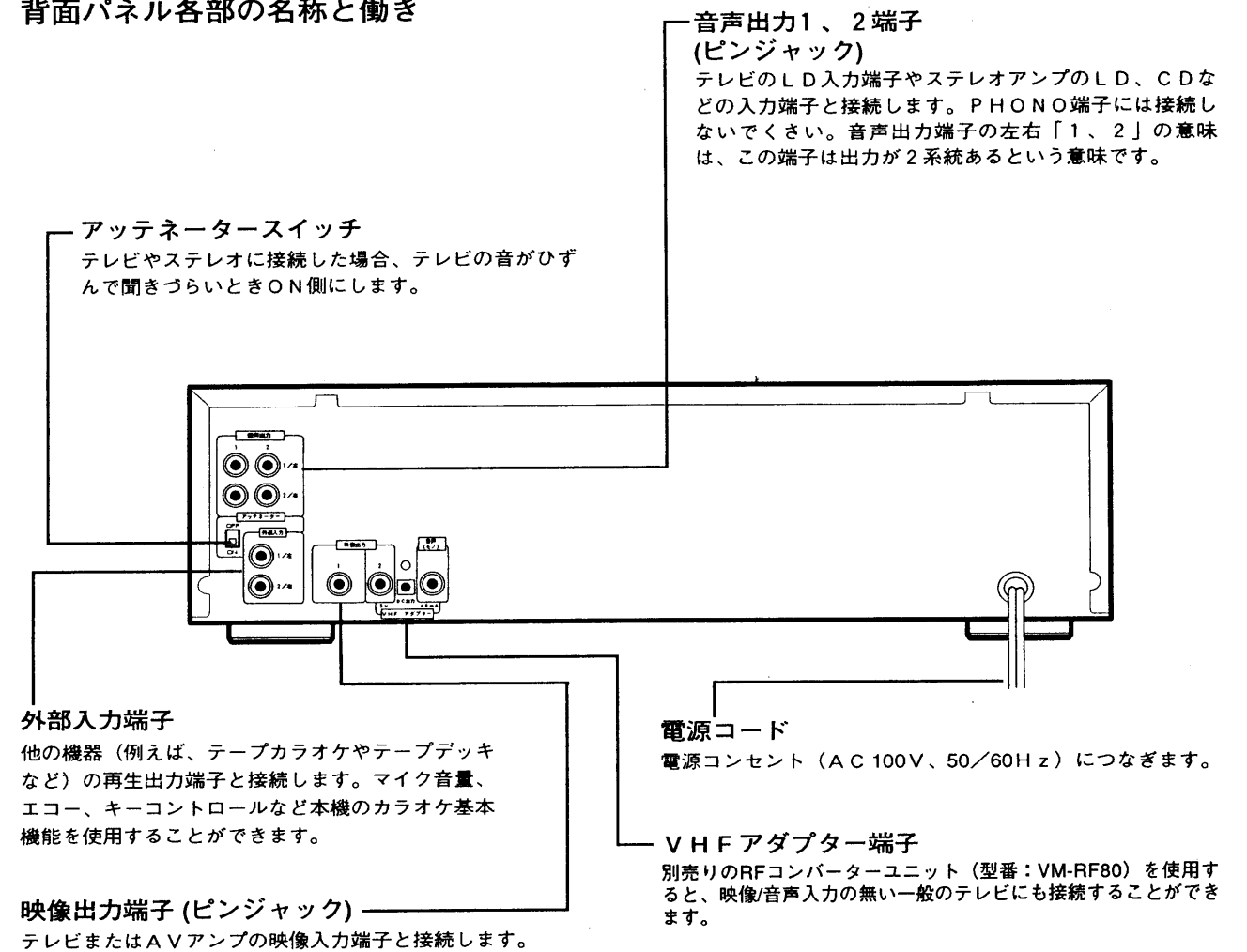
- 裏面のふたを開ける。
- ＋、－の向きに注意して電池をはめ込む。
- ふたを閉める。

乾電池は、誤った使い方をすると液漏れや破裂などの危険があります。次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス (+) とマイナス (-) の向きを電池ケースの表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがありますので、まぜて使用しないでください。また電池の注意表示をよく見てご使用ください。



背面パネル各部の名称と働き

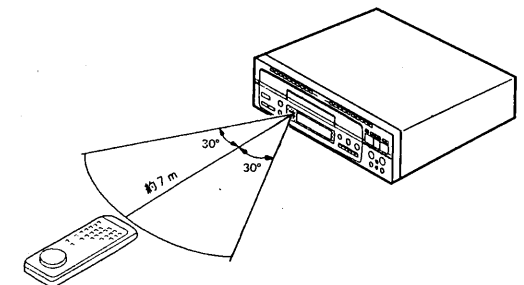


リモコンの操作

リモコンはプレーヤー前面部のリモコン受光窓に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7m以内、またリモコン受光窓を基準にして、左右30°までの範囲で操作できます。

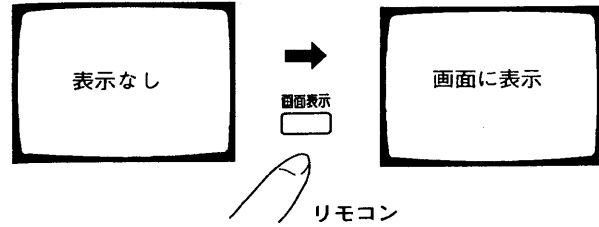
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- リモコンが操作可能範囲で操作されていても、間に障害物があったり、角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線の出る機器の近くで本機を使用したり、赤外線を使ったリモコン装置を使用すると本機が誤動作することがあります。また、赤外線信号によってコントロールされる他の機器が本機のリモコンによって誤動作することがあります。誤動作の起きないよう、設置場所を変えてください。
- 長い間 (約1ヶ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。液漏れが起きたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

- リモコンの上に本などを置かないでください。ボタンが押され続け、電池が消耗することがあります。
- リモコンに水などの液体をかけたためらさずしないでください。内部に液体が入ると故障の原因になることがあります。



画面表示について

リモコンの画面表示ボタンで、現在行なっている再生モード、チャプター/トラックナンバーや再生時間などを画面に表示できます。

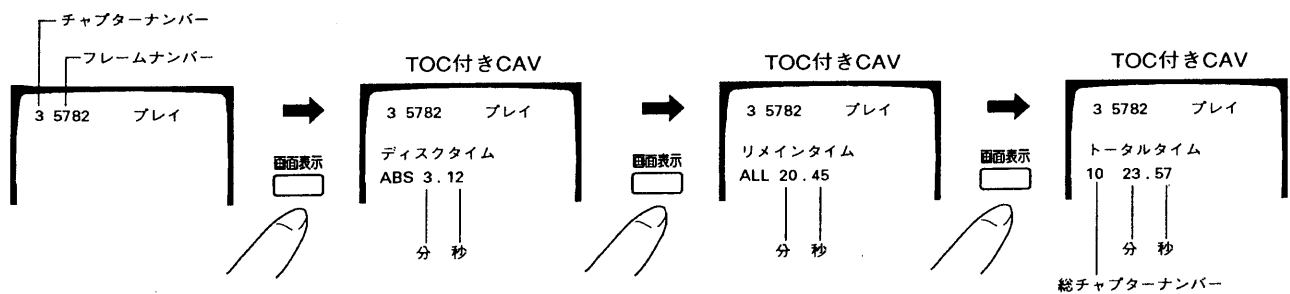
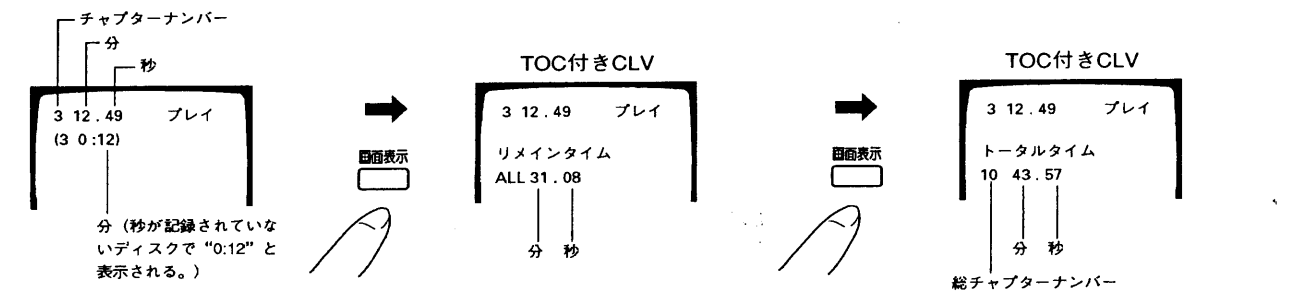
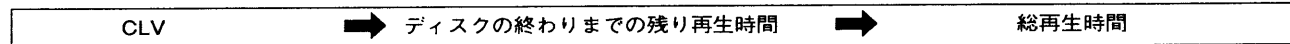


時間表示について
画面表示ボタンを押すたびに次のように変わります。

TOC付き LD では...

タイム/フレームナンバー (ディスクの初めからの経過時間/フレームナンバー) → リメインタイム ALL (再生中のところからディスクの最後までまでの残り再生時間) → トータルタイム (ディスクの初めから終わりまでの総再生時間) → 表示が消える。

また、CAVでは、フレームナンバーの次にABS (ディスクの初めからの再生時間) を表示します。



エービーエス
ABSとは:
アブソリュート タイム
Absolute timeの略で絶対時間と訳します。

TOCなしLDでは...

タイム/フレームナンバー (ディスクの初めからの経過時間/フレームナンバー) → 表示が消える。

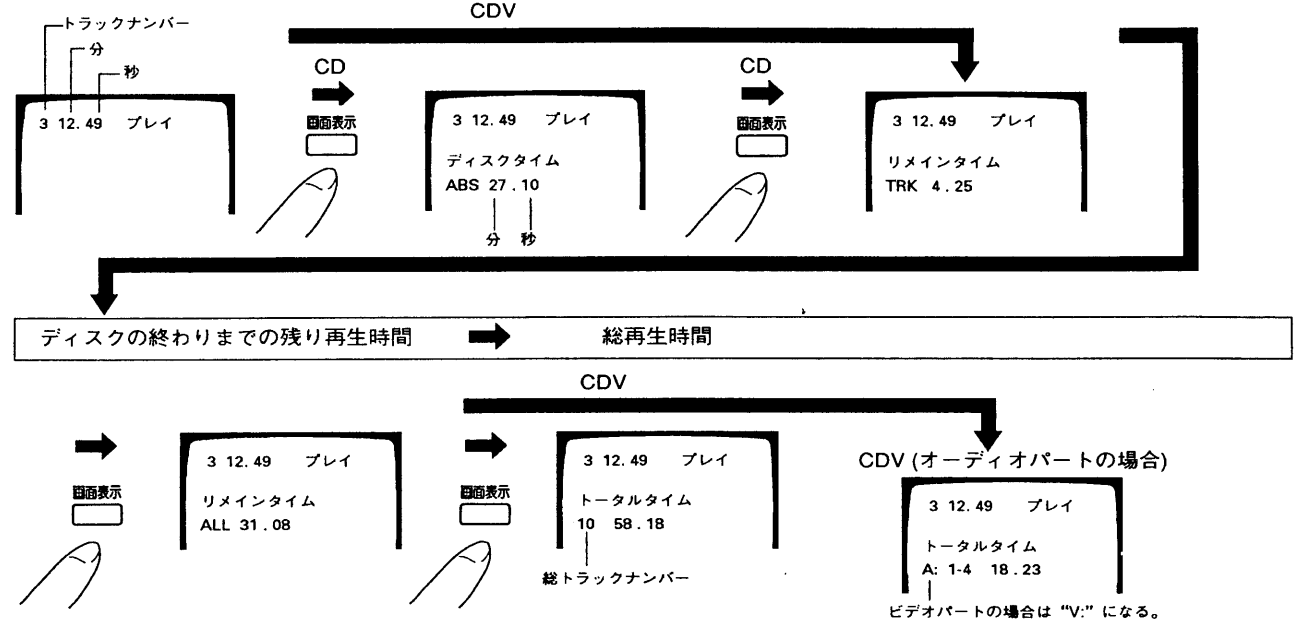
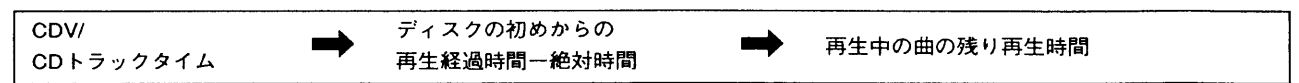
CDVでは...

トラックタイム (再生中の曲の初めから再生中のところまでの再生経過時間) → リメインタイム TRK (再生中の曲の残り再生時間) → リメインタイム ALL (再生中のオーディオパートまたはビデオパートの残り再生時間) → トータルタイム (再生中のオーディオパートまたはビデオパートの初めから終わりまでの総再生時間) → 表示が消える。

CDでは...

トラックタイム (再生中の曲の初めから再生中のところまでの再生経過時間) → ディスクタイム ABS (ディスクの初めから再生中のところまでの再生経過時間-絶対時間) → リメインタイム TRK (再生中の曲の残り再生時間) → リメインタイム ALL (再生中のところからのディスクの終わりまでの総再生時間) → トータルタイム (ディスクの初めから終わりまでの総再生時間) → 表示が消える。

● これらの時間情報は、本体の表示窓にも同時に表示されます。

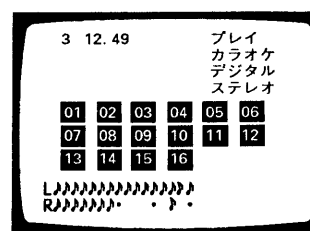


その他の表示と内容

点灯・点滅	内容	点灯・点滅	内容
オープン	ディスクテーブル開	エディット	エディットモード
クローズ	ディスクテーブル閉	オート	オートプログラムエディット
ストップ	停止	コンピュ	コンピュプログラムエディット
プレイ	再生	デジタル	デジタル音声
ポーズ	一時停止	アナログ	アナログ音声
スティル	静止画	ステレオ	ステレオ
CLV	CLV再生	1/L	主音声/左チャンネル
リピートメモリー	メモリーリピート	2/R	副音声/右チャンネル
リピートA-B	A-Bリピート	CX ON	CXシステムON
リピートチャプター (トラック)	チャプター/トラックリピート	CX OFF	CXシステムOFF
リピートサイド	片面リピート	ラストメモリー	ラストメモリー
リピートプログラム	プログラムリピート	カラオケ	カラオケモード
プログラム	プログラムモード	音多	音声多重
ステップ	プログラムステップ (番号)	HIFI 音多	ハイファイ音多
イントロ	イントロスキャン	外部	外部入力モード
		標準	標準モード

● CDまたはCDVのオーディオパートの再生では、ビジュアルカレンダーはブルーの画面上に表示されます。

音声のレベル表示について



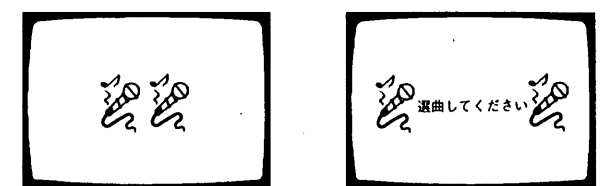
CDまたはCDV (オーディオパート) の再生中に、トラックタイム表示にすると、画面の下側にオーディオレベルの表示をします。

ご注意:
まれに誤ったレベルを表示することがありますが故障ではありません。

曲間演出について

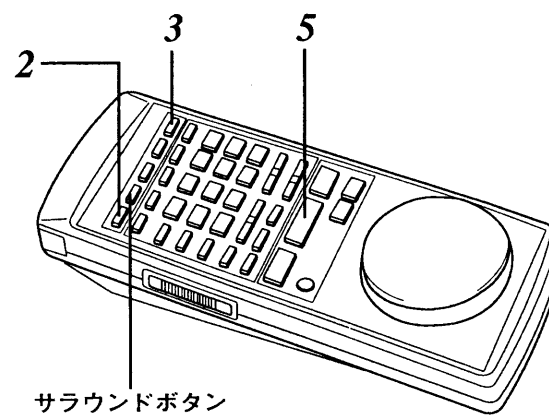
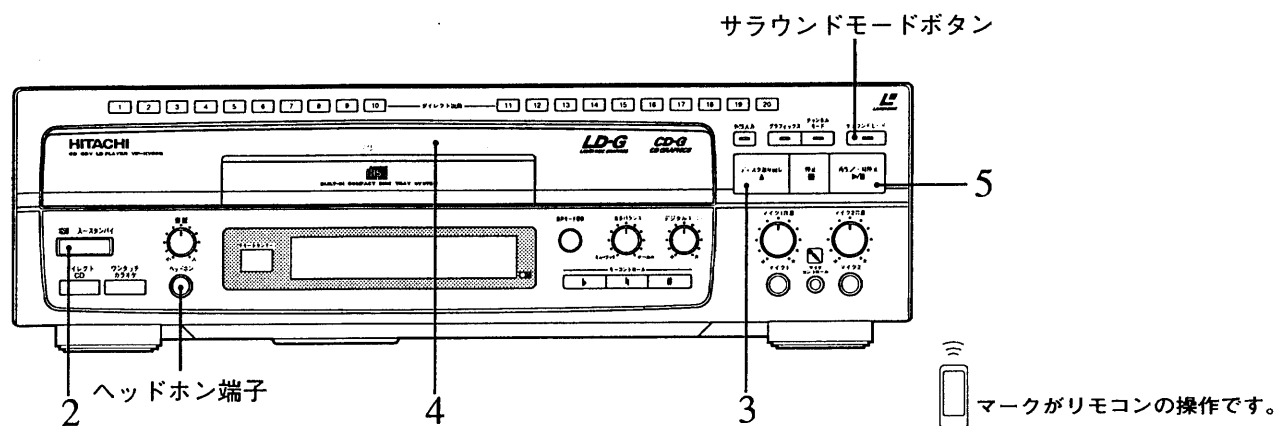
カラオケモードでは、停止中や一時停止中にマイクが画面に表示されます。

ディスクが入っていないとき 停止中や一時停止中のとき



- ダイレクトCD (→ 37ページ) では、表示しません。
- グラフィックスオン (→ 26ページ) では、表示しません。

LD/CDV/CDを見る・聞くには



本機前面とリモコンで同じ名称やマークのボタンは同じ働きをします。

<p>1 テレビやオーディオシステムの電源を入れます。</p> <p>画面を見るためには： テレビのビデオ入力を選びます。または、RFコンバーターユニットのチャンネル切換スイッチを空きチャンネルに合わせ、テレビを同じチャンネルに合わせます。</p> <p>音声をステレオシステムで聞くとときは： アンプの電源を入れ、入力切換スイッチを“CD”や“VDP”など、VIP-KY50Gを開ける位置にします。</p>	<p>2 本機の電源を入れます。</p> <p>電源 入-スタンバイ</p> <p>または</p> <p>電源</p>	<p>3 ディスクテーブルを開けます。</p> <p>ディスク取り出し</p> <p>または</p> <p>停止/取出し</p>
---	--	---

4
ディスクテーブルにディスクをセットします。

図のようにディスクそれぞれのサイズの溝に沿って正確に置いてください。

- ディスクのテーブルの溝からずれてディスクをセットすると正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。それぞれのディスクサイズの溝にそって正確に置いてください。

CD/CDV: レーベル面を上
LD: 見たい面のレーベルを上

5
再生を始めます。

または

再生

- CDVはビデオパートから始まります。
- サラウンドを選んで映画、音楽などの雰囲気を感じることができます。(→ 23ページ)

再生中の表示窓には：

LDの場合

チャプターナンバー タイムナンバー (分/秒または分のみ) またはフレームナンバー

CD/CDVの場合

トラックナンバー 再生中の曲の再生経過時間 (分/秒)

オーディオシステムにつながずに本機だけで聞くには：
本機前面のヘッドホン端子にヘッドホンを差し込みます。ヘッドホンの音量は本機前面の音量つまみで調整します。

ディスクセットのご注意

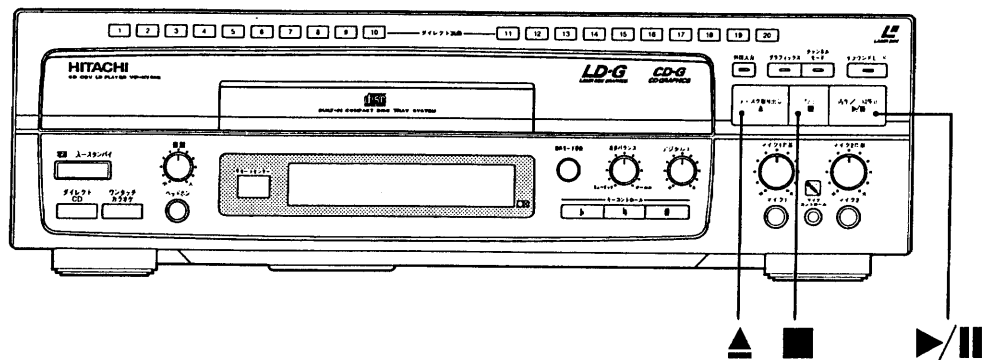
- ディスクは1枚だけセットしてください。2枚重ねてセットするとディスクを傷つけたり故障の原因になります。
- 本機では、CDビデオシステムに適合するすべてのディスクはアダプターなしで再生します。アダプターは使わないでください。
- CD、CDV、またはLDの片面ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。

故障や事故を避けるため、次のことに特にご注意ください。

- ディスク以外のものをディスクテーブルにのせないでください。
- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- ディスクテーブルが引き込まれるときに指をはさまないように注意してください。また、小さなお子さまがふたを開けて中に手を入れないように注意してください。けがをする場合があります。

基本操作

LD/CDV/CD を見る・聞くには (つづき)



再生を一時止めるには

再生/一時停止

または

一時停止

音や映像が消え、表示窓の一時停止インジケータが点灯します。もう一度再生/一時停止ボタン▶/|| または一時停止ボタン|| を押すと、止めたところから再生が始まります。

再生を止めるには

停止

または

停止/取出し

1度押す

再生を止めたあとで再生/一時停止ボタン▶/|| または再生ボタン▶ を押すと、ディスクの始めから再生が始まります。

再生を止めてディスクを取り出すには

ディスク取り出し

または

停止/取出し

2度押す

ディスクを取り出したらオープン/クローズボタンまたは再生ボタン▶ を押してディスクテーブルを閉めます。

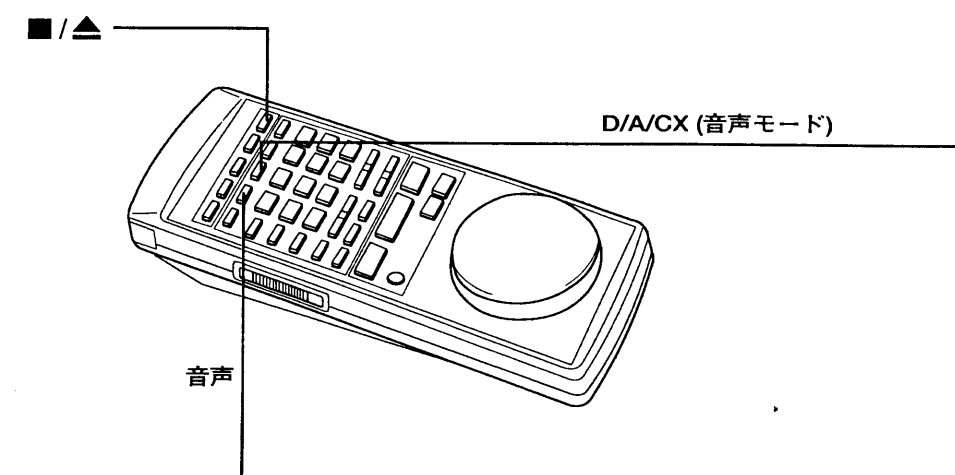
LDマーク付きのLDについて
 LDは、LDのアナログ音声に対して機能します。
 LDマークの付いたLDでは、CXノイズリダクションシステムにより、雑音の少ない音を再生することができます。
 LDマーク付きのディスクの中には、CXシステムを自動的に入・切するコードが記録されていないものがあります。この場合は、リモコンのD/A/CXボタンを押してCX ONにしてください。
 コードが記録されているディスクでは、プレーヤーが自動的に入・切を行ないますので、D/A/CXボタンでの切り換えはできません。
 ●LDはCBSの商標です。本プレーヤーはCXの伸張仕様と適合します。

ポーズタイマーについて：
 プレーヤーは一時停止状態にしてもディスク回転用のモーターは回転しています。長時間一時停止状態のままにしておくと、モーター寿命を縮める原因となりますので、LDでは約20分間一時停止状態が続くと自動的に停止します。

テレビ放送が見なくなったら
 ●テレビ側で切り換えます。
 ●別売のRFコンバーターユニット(型番:VM-RF80)を使用して、一般のテレビを使用している場合は、本機の電源スイッチを押して電源を切り切ります。

ラストメモリー機能について：
 LD再生中に電源スイッチを押してOFFにすると、その場面の少し手前をメモリーします。再び電源をONにして再生/一時停止ボタンを押して再生すると、メモリーした場面から再生します。(ラストメモリー機能:「ラストメモリー」と表示します。)

ピクチャーストップコードの記録されているLDで、ピクチャーストップ機能をキャンセルするには：
 LDを再生するときに、再生/一時停止ボタンを約2秒間押し続け、表示窓のPSCインジケータを点灯させ再生を始めます。ストップコードの記録されているところで静止面にならず、通じてみる事ができます。
 ただし、マイク端子にマイクを接続している場合、最初のフレームにピクチャーストップコードが記録されているチャプターをサーチすると、PSCインジケータが消灯していても静止面になりません。ピクチャーストップに戻るときは、再び再生/一時停止ボタンを約2秒以上押し続け、PSCインジケータを消灯させてください。



**ステレオディスクの片チャンネルだけを聞くには
音声多重ディスクの音声を選ぶには**

再生中に：

再生中に：	聞こえる音声		表示窓のインジケータ
	ステレオディスク	音声多重ディスク	
音声	ステレオ	音声1/L (左) 音声2/R (右)	1/L 2/R
音声	1/L	音声1/L (左)	1/L
音声	2/R	音声2/R (右)	2/R
			始めに戻る

(カラオケモードでは動きません。)

デジタル音声付きディスクのアナログ音声を聞くには (LDのみ)

再生中に：

再生中に：	聞こえる音声	画面表示
D/A/CX 音声モード	デジタル	
D/A/CX 音声モード	アナログ	アナログ
D/A/CX 音声モード	始めに戻る	デジタル

(カラオケモードでは、前面の音声モード切換ボタンと同じ働きになります。)

マルチオーディオディスク (MULTI AUDIO または 4音源 と MULTI AUDIO マーク付きLD) では、D/A/CX ボタンで選ぶデジタル/アナログと、音声ボタンで選ぶ1/L、2/Rチャンネルを組み合わせるいろいろな楽しみかたができます。

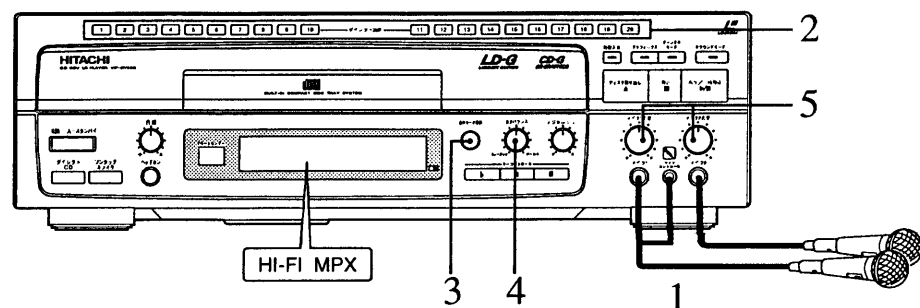
音声仕様の具体例

ディスク	音声	アナログ音声	デジタル音声
映画・アニメなど		本編の音声	サウンドトラック
デュアルミュージック		ミュージック1	ミュージック2
デジタル音声多重カラオケ		1/L カラオケ (モノラル) 2/R アシスタントボーカル	ステレオカラオケ
ステレオ・バイリンガル (二カ国語)		日本語	第一外国語

ディスク	音声	アナログ音声	デジタル音声
トリリンガル (三カ国語)		日本語	1/L 第一外国語 2/R 第二外国語
クワッドリンガル (四カ国語)		1/L 日本語 2/R 第一外国語	1/L 第二外国語 2/R 第三外国語

LDカラオケディスクを楽しむには—カラオケ機能

専用のLDカラオケディスクを使用するとき



- **デジタルMULTI AUDIO** または **Hi-Fi** と MULTI AUDIO マークの付いたディスクでは、アナログ音声部がカラオケ仕様で、デジタル音声部がステレオ仕様になっているディスクです。ハイファイ (HI-FI) ステレオでカラオケが楽しめます。

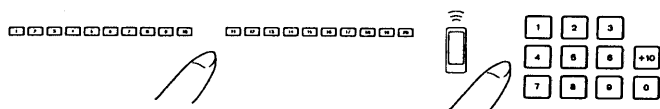
1. マイクのプラグをマイク1端子またはマイク2端子に差し込む。

プラグを差し込むと、カラオケ機能が働きます。

- マイクコントロール端子を使用すると、マイクの手元でキーコントロールやワンスモアの操作ができます。

2. 数字ボタンで選曲する

- リモコンで10以上を選曲するときは、+10ボタンを使用します。(例：17のとき+10、7。30のとき+10、+10、+10、0。)

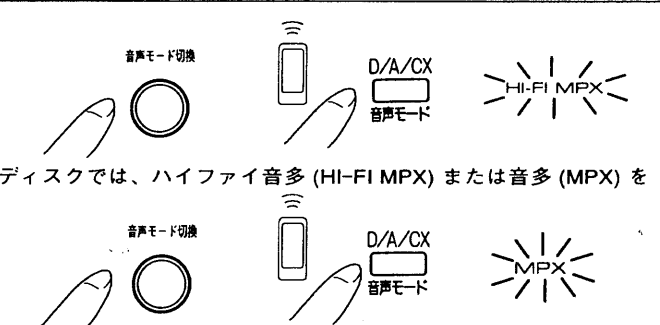


3. 音声モード切換ボタンを押し、カラオケ用音声にする。

デジタルMULTI AUDIO または **Hi-Fi** と MULTI AUDIO マークの付いたディスクを使用する場合

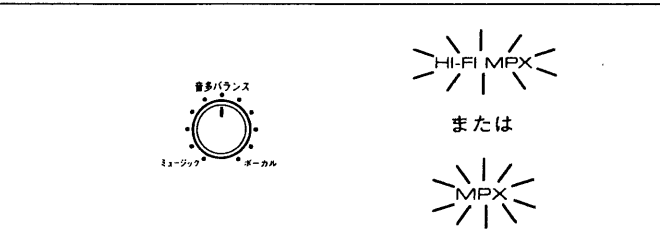
- **デジタルMULTI AUDIO** または **Hi-Fi** と MULTI AUDIO マークの付いたディスクでは、ハイファイ音多 (HI-FI MPX) または音多 (MPX) を選ぶと歌手の声が出て、歌の練習ができます。

音多ディスクを使用する場合

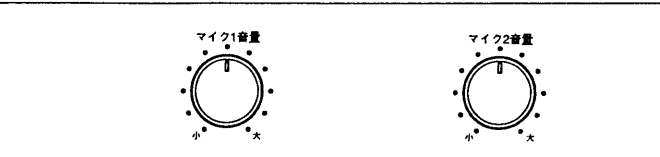


4. 音多バランスつまみを回し、歌手の音量を調整する。

- ミュージック側に回すほど、歌手の声が小さくなります。歌手の声を聞きながらあるいは演奏のみにして、歌の練習ができます。
- ワンタッチカラオケボタンを押しても、演奏のみになります。
- "HI-FI MPX"か"MPX"が点灯しているときだけ働きます。



5. マイク1、マイク2音量つまみで、マイクの音量を調整する。



6. さあ、歌いましょう!

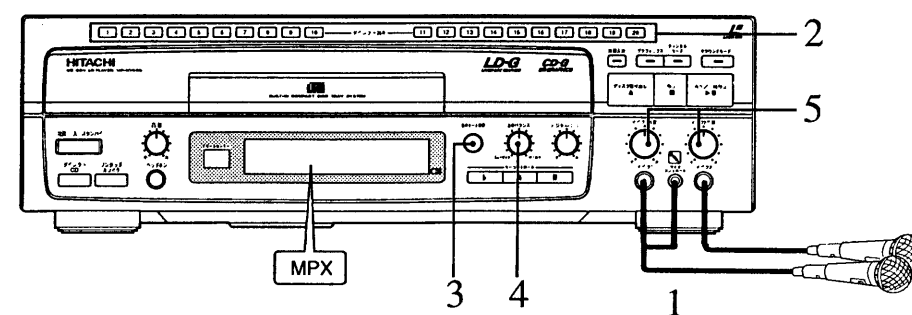
- 選曲した曲の再生が終了すると一時停止します。再び歌うときは、数字ボタンで選曲してください。
- カラオケ演奏を終了するには、オープン/クローズボタン **▲** かりリモコンの停止/取出しボタン **■/▲** を押します。
- カラオケ演奏に便利な機能については 23、24 ページをご覧ください。

ご注意:

マルチ レーザーディスク プレーヤーの音声出力をTV、VTR等の音声入力に接続して使用する場合カラオケ等での機器のマイク入力に過大な信号が入ると、接続されている機器によっては音声に歪みや悪影響を与える恐れがあります。その際には、マイク音量設定レベルを下げるか、プレーヤー背面のアッテネータースイッチ (→8ページ) をON側にしてご使用ください。

CD/CDVカラオケディスクを楽しむには

音声多重CDカラオケディスクを使用するとき



- 音声多重CDカラオケまたはCDVカラオケディスクを使用するとき。

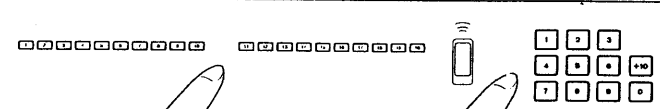
1. マイクのプラグをマイク1端子またはマイク2端子に差し込む。

プラグを差し込むと、カラオケ機能が働きます。

- マイクコントロール端子を使用すると、マイクの手元でキーコントロールやワンスモアの操作ができます。

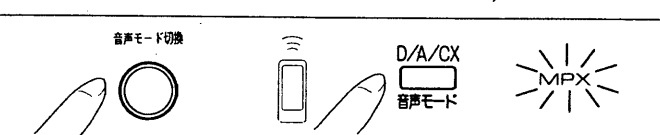
2. 数字ボタンで選曲する

- リモコンで10以上を選曲するときは、+10ボタンを使用します。(例：17のとき+10、7。30のとき+10、+10、+10、0。)



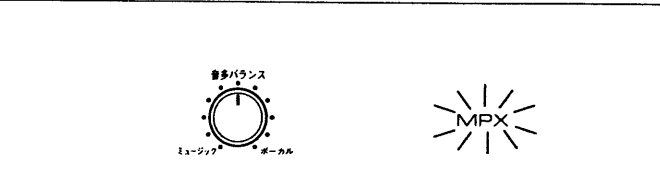
3. 音声モード切換ボタンを押して音多表示 (MPX) を点灯させます。

- ステレオ表示の場合は、音多(MPX)に合わせてください。



4. 音多バランスつまみを回し、歌手の音量を調整する。

- ミュージック側に回すほど、歌手の声が小さくなります。歌手の声を聞きながらあるいは演奏のみにして、歌の練習ができます。
- ワンタッチカラオケボタンを押しても、演奏のみになります。
- "MPX"が点灯しているときだけ働きます。



5. マイク1、マイク2音量つまみで、マイクの音量を調整する。

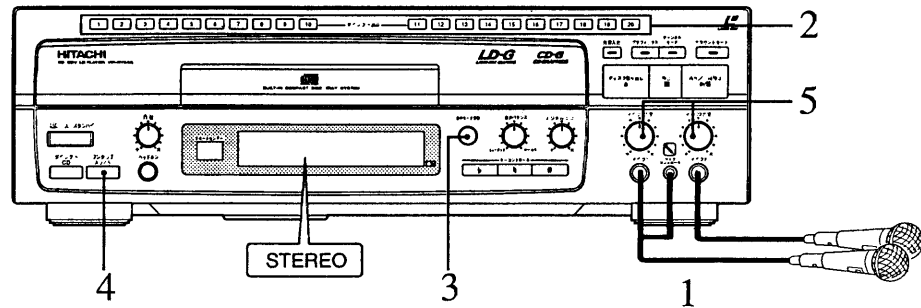


6. さあ、歌いましょう!

- 選曲した曲の再生が終了すると一時停止します。再び歌うときは、数字ボタンで選曲してください。
- カラオケ演奏を終了するには、オープン/クローズボタン **▲** かりリモコンの停止/取出しボタン **■/▲** を押します。
- カラオケ演奏に便利な機能については 23、24 ページをご覧ください。

- カラオケモードでは、CD/CDVディスクの音量を標準モードの約2/3にしています。

通常のステレオディスクでカラオケを楽しむには



- 通常のCD（歌が入っている）やLD、CDVディスクをカラオケとして楽しめます。
- 一般の音楽ディスクでは、音声モード切換ボタン（リモコンではD/A/CXボタン）で、“STEREO”インジケータを点灯させ、ワンタッチカラオケボタンを押すと、歌手の声を小さくしてカラオケの練習ができます。
- 音多表示“MPX”にはしないでください。ワンタッチカラオケ機能が働かなくなります。

1. マイクのプラグをマイク1端子またはマイク2端子に差し込む。

プラグを差し込むと、カラオケ機能が働きます。

- マイクコントロール端子を使用すると、マイクの手元でキーコントロールやワンスモアの操作ができます。

2. 数字ボタンで選曲する

- リモコンで10以上を選曲するときは、+10ボタンを使用します。（例：17のとき+10、7。30のとき+10、+10、+10、0。）



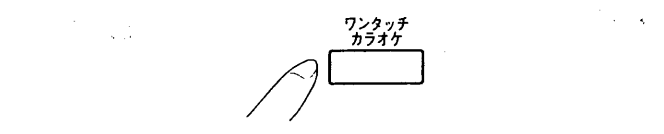
3. 音声モード切換ボタンを押してステレオ表示（STEREO）を点灯させます。

- 自動的に、ステレオ表示になる場合もあります。

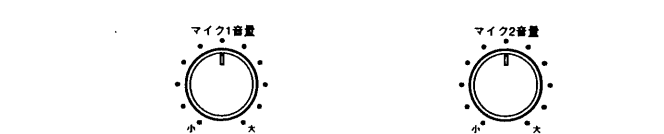


4. ワンタッチカラオケボタンを押す。

- 音多バランスつまみは動きません。



5. マイク1、マイク2音量つまみで、マイクの音量を調整する。



6. さあ、歌いましょう！

- 選曲した曲の再生が終了すると一時停止します。再び歌うときは、数字ボタンで選曲してください。
- カラオケ演奏を終了するには、オープン/クローズボタン ▲ かりリモコンの停止/取出しボタン ■/▲ を押します。
- カラオケ演奏に便利な機能については 23、24 ページをご覧ください。

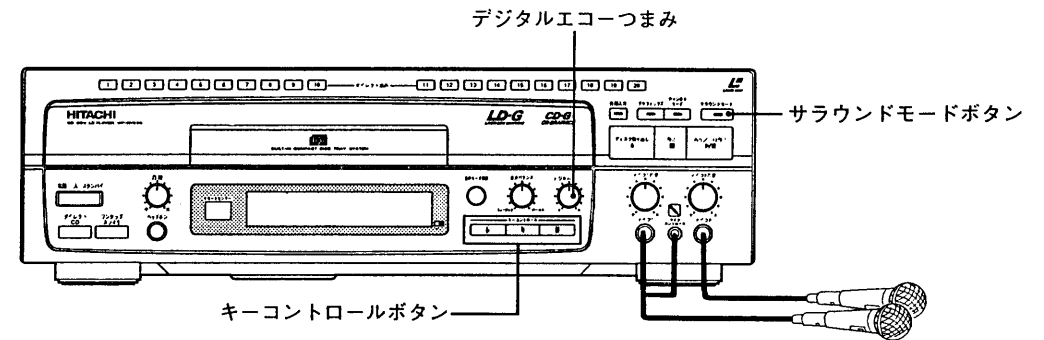
ご注意：

- プレーヤーは一時停止（PAUSE）状態にしてもディスク回転用のモーターは回転しています。一時停止状態のまま長時間放置すると、モーター寿命を縮める原因となります。特にカラオケ演奏時、プレーヤーは曲の演奏後、自動的に一時停止状態になります。長時間ご使用にならない場合には必ずストップ（■）ボタンを押して停止してください。
- カラオケディスクでも、音声モード切換ボタン（リモコンではD/A/CXボタン）で、“HI-FI MPX”または“MPX”インジケータを点灯させ、ワンタッチカラオケボタンを押すと、カラオケ演奏になります。

マイクを使用しない場合：

ワンタッチカラオケボタンを押すと歌手の声を小さくした演奏を楽しむことができます。手軽なカラオケの練習に便利です。

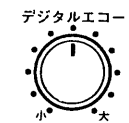
カラオケに便利な機能



■ マイクにかかるエコーの量を調整するには

デジタルエコーつまみを回します。右に回すと多く、左に回すと少なくなります。

マイク端子にマイクのプラグを差し込まないとデジタルエコーは働きません。



■ 歌っている場所の雰囲気を出すには（サラウンド）

サラウンドモードボタンを押して、シアター、カラオケ、ミュージックのうちお好みに合わせてください。

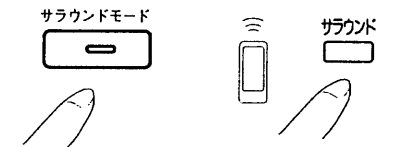
シアター： 映画館にいる雰囲気をつくりだします。反響音や残響音が長めになっています。

カラオケ： 屋内ステージで歌っている雰囲気をつくりだします。直接聞こえる音を多めにし、残響音が少なめになっています。

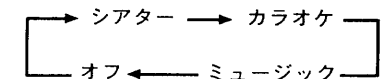
ミュージック： ホールのような場所にいる雰囲気をつくりだします。残響音が少なく、反響音が聞こえるまでの時間が長くなっています。

オフ： サラウンド機能は働きません。

- マイク端子にマイクのプラグを差し込まないとき（標準モード）でのディスク再生時でもサラウンドになります。



ボタンを押すごとに切り換わります。



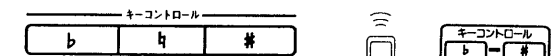
■ 曲の音程を変えて、自分の音程に合わせるには（キーコントロール）

キーコントロールボタン（b H #）でお好みの音程に合わせます。

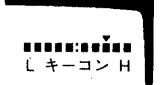
bボタン：音程が低くなります。

#ボタン：音程が高くなります。

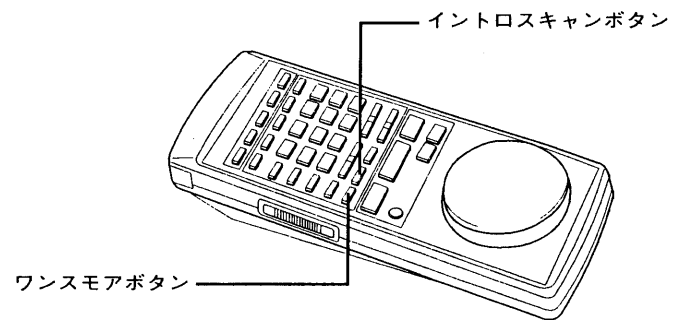
中央のHボタンを押すと、標準状態になります。



マイク端子にマイクのプラグを差し込まないとキーコントロールは働きません。



カラオケに便利な機能



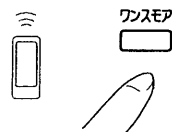
■出だして間違ったときに歌い直しをするには (ワンスモア)

ワンスモアボタンを押します。

一回押すと、約5秒前に戻ってから再生を始めます。何回か押すと、押した回数×5(秒)手前に戻りますが選曲した曲の最初まで戻るとそれ以上は戻りません。

●曲の始めまで戻したとき、一時停止した場合は、一時停止ボタン■または、ワンスモアボタンを押してください。再生が始まります。

●別売のマイクロホン「UDM-KY30」などのコントロールプラグ付のマイクを使用すると、マイクで操作できます。

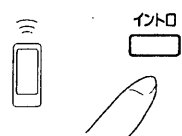


マイク端子にマイクのプラグを差し込まないとワンスモアは動きません。



■曲の初めだけを連続再生して探すには (イントロスキャン)

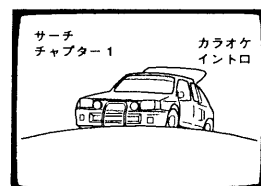
イントロスキャンボタンを押すと、曲の初めの10秒間を次々再生します。



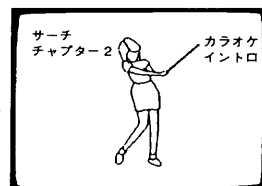
歌いたい曲を見つけたら再生/一時停止ボタン▶■または再生ボタン▶を押す。ふつうの再生が始まり、イントロスキャンは解除されます。

●チャプターナンバーやトラックナンバーの記録されていないディスクでは、イントロスキャンはできません。

●マイク端子にマイクのプラグを差し込まないとき(標準モード)でのディスク再生時でもイントロスキャンはできます。



1曲目の初めの10秒間を再生します。

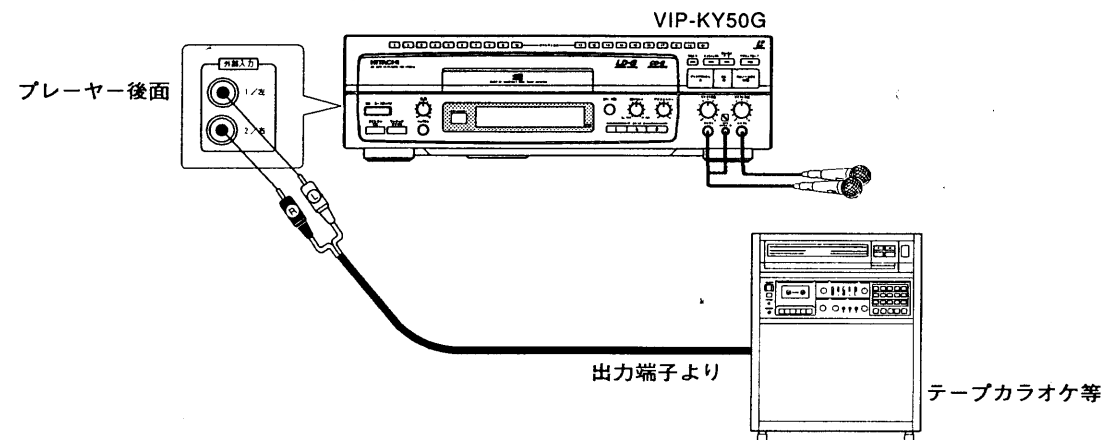


2曲目の初めの10秒間を再生します。

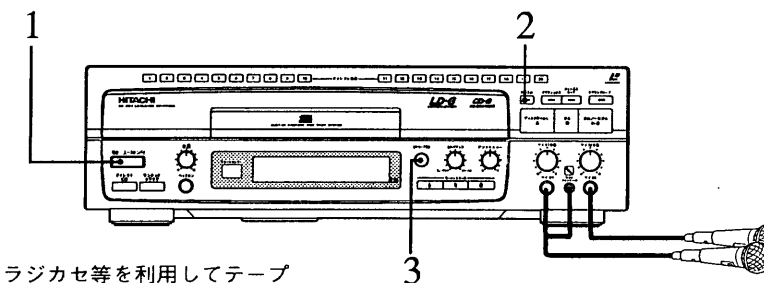
別のカラオケ機器を使用するには

接続方法

レーザーカラオケプレーヤーの外部入力端子とカラオケ機器の出力端子を接続します。マイク端子にマイクのプラグを差し込みます。

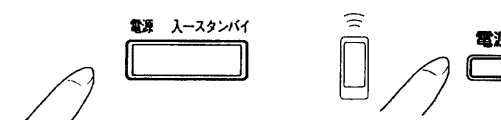


楽しみかた



●お手持ちのテープカラオケやラジカセ等を利用してテープカラオケができます。

1. 電源を入れる。



2. 外部入力ボタンを押す。

マイク端子にマイクのプラグを差し込まないと外部入力機能は働きません。



3. 外部入力に応じて音声モードを選ぶ。

●外部入力ではハイファイ音多は働きません。また、選曲しても本機の一曲停止機能は働きません。

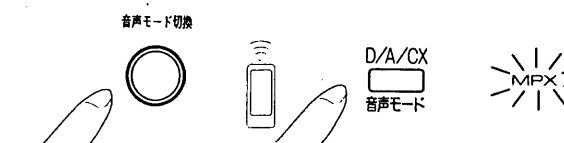
外部入力がステレオの場合：

音声モード切換ボタンを押して、ステレオ表示が点灯するように切り換えます。(音多バランスつまみは働きません。)



外部入力が音多の場合：

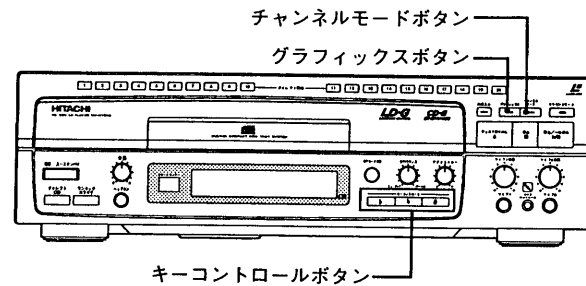
音声モード切換ボタンを押して、音多表示が点灯するように切り換えます。(音多バランスつまみが働きます。)



●カラオケ演奏に便利な機能については23、24ページをご覧ください。

LD/CDグラフィックスを楽しむには

LDグラフィックス、CDグラフィックスとは
ディスクの記録フォーマットには、映像や音声信号を記録する場所以外にサブコードと言う記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。LDグラフィックスディスクには **LD-G** マークが付いています。CD（またはCDV）グラフィックスディスクには、**GRAPHICS** マークが付いています。グラフィックスを楽しむには、これらのマークが付いたディスクをご使用ください。

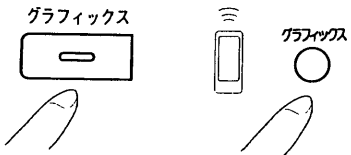


1 電源を入れ、グラフィックス対応ディスクをセットする。

- ダイレクトCDモードでもグラフィックスを再生できます。

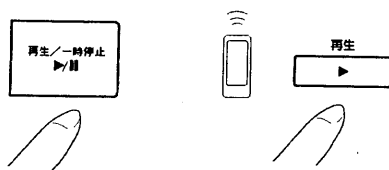
2 グラフィックスボタンを押す。

- インジケータが点灯し、グラフィックスオンになります。



- LDでは初めは、グラフィックスチャンネル0と1がオンになり、グラフィックスモード1の表示が出ます。(もう一度押すと、グラフィックスチャンネル2がオンに変わります。グラフィックスモード2の表示が出ます。)
- CDでは、グラフィックスオンの表示が出ます。

3 再生を始める。



グラフィックスをオフにするには

グラフィックスボタンを押して、グラフィックスオフを表示させます。

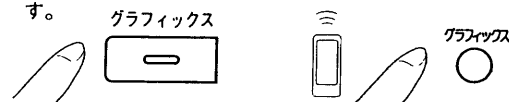
LD/CDグラフィックスディスク再生時、次の操作をすると、グラフィックス映像の“文字が欠ける”、“画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる”、“画面や文字の色が変わる”ことがあります。これは故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス映像になります。

- 早送り、早戻し（スキップつまみ、早送り/早戻しボタン）
- 一時停止ボタン
- サーチ
- ワンスモア
- グラフィックスコントロール画面でのグラフィックスボタン

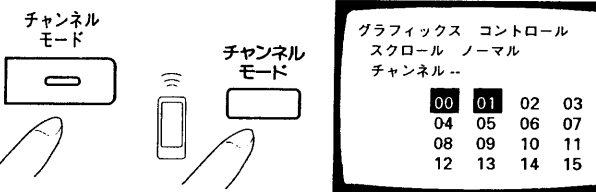
グラフィックス表示の位置を変えるには

映画の台詞などの表示位置を変えることができます。グラフィックスの初めの位置表示（初期値）はグラフィックスによって異なります。

- グラフィックスボタンを押す。
 - インジケータが点灯し、グラフィックスオンになります。

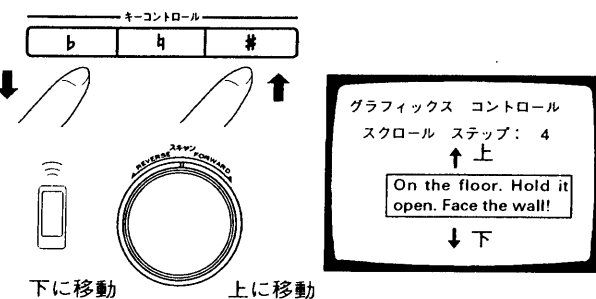


- チャンネルモードボタンを押す。
 - インジケータが点灯し、チャンネルモードになります。
 - グラフィックスコントロールの画面表示が出ます。



3 画面表示しているあいだにキーコントロールボタンを押す。またはリモコンのスキップつまみを回す。

- 高く (#) を押すと上に移動します。低く (b) を押すと下に移動します。h を押すと、表示位置は初めの状態になります。
- スクロールステップ表示になり、ノーマルから17まで18段階できます。



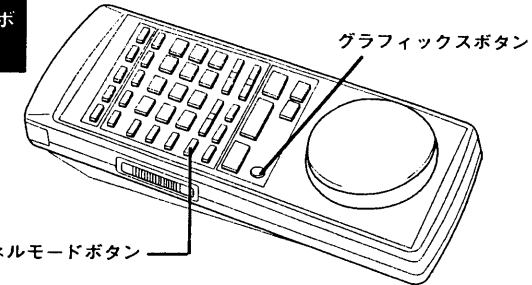
4 位置を決めたらチャンネルモードボタンを押す。

- インジケータが点灯します。また、上記のグラフィックスコントロール画面が消えます。



- ご注意:
- グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像を出しますが故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフにしてください。
 - CAVディスクの静止画像時はグラフィックス映像は出ません。ただし、一時停止時は、グラフィックス映像をテレビ画面上に残すことができます。

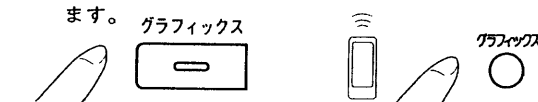
チャンネルモードボタンは、グラフィックスボタンがオンでないと、オンになりません。



グラフィックスチャンネルを変えるには*

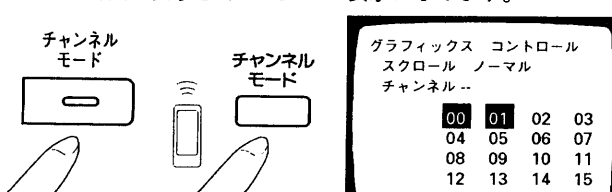
1 グラフィックスボタンを押す。

- インジケータが点灯し、グラフィックスオンになります。



2 チャンネルモードボタンを押す。

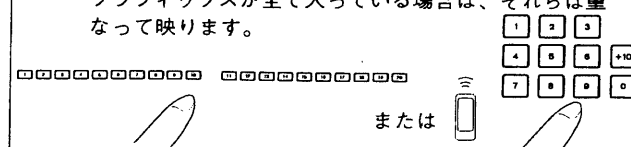
- グラフィックスコントロールの画面表示が出ます。
- 前面の表示窓では“CH--”表示になります。



(表示は、チャンネル“0”と“1”がオンです。)

3 数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

- もう一度同じチャンネルボタンを押すとオフになります。
- いくつでも選ぶことができます。選んだチャンネルにグラフィックスが全て入っている場合は、それらは重なって映ります。

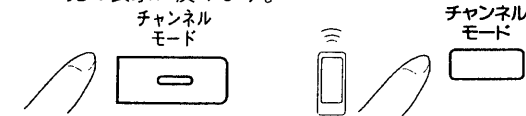


チャンネル“0”をオン・オフするときは、**0** ボタンを押します。

10以上は+10ボタンを使用します。
(例) 10: +10、0
15: +10、5

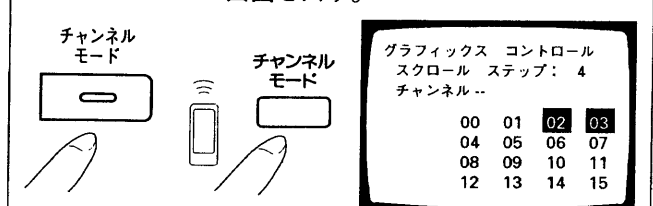
4 もう一度チャンネルモードボタンを押す。

- 元の表示に戻ります。



設定したチャンネル、表示位置を初めの位置に戻すには

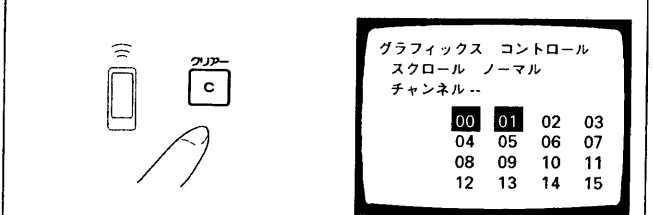
- チャンネルモードボタンを押して、グラフィックスコントロールの画面を出す。



チャンネル、表示位置の両方に戻すには

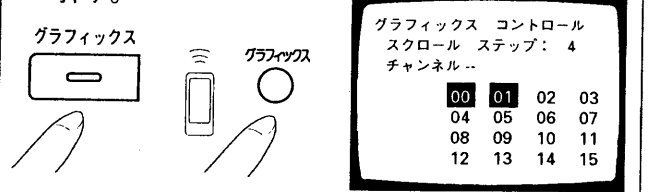
- 画面表示しているあいだにクリアーボタンを押す。初めの状態に戻ります。

LDグラフィックスでは、初めにグラフィックスモード2に設定してあった場合は、チャンネル2に戻ります。



チャンネルだけを戻すには

- 画面表示しているあいだにグラフィックスボタンを押す。



LDグラフィックスでは、もう一度グラフィックスボタンを押すと、チャンネル2になります。グラフィックスボタンを押すたびにグラフィックス映像を消します。

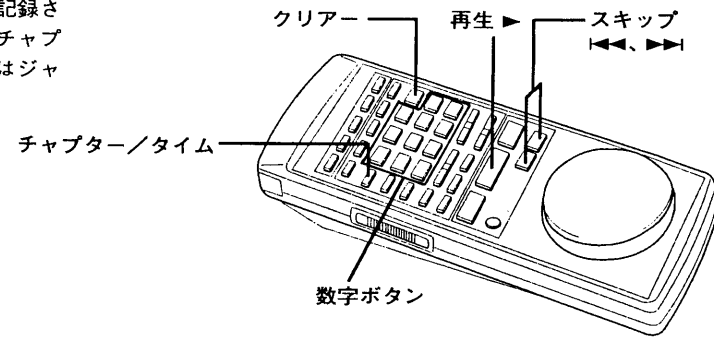
あれ？グラフィックス映像が出ない
LD/CDグラフィックスディスクを使用してグラフィックスボタンを押してもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、電源を一度切り再び電源を入れるか、チャンネルモードボタンを押してグラフィックスコントロールモードにクリアーボタンを押してください。グラフィックスチャンネルが初めの状態に戻ります。

*1 LD/CDグラフィックスには0~15までの16のグラフィックスチャンネルがあります。このグラフィックスチャンネルをオン/オフすることにより、画面に映す情報を選ぶことができます。本機は、電源を入れたときはいつも0と1チャンネルがオンになります。ディスクのジャケットなどにチャンネルの指示が書いてある場合とディスク映像から指示がある場合以外は、変更しなくてもグラフィックスを出すことができます。

見たい場面を探す

チャプターやトラックの区切りで探すーチャプタースキップ、トラックサーチ

チャプターはLDに、トラックはCDまたはCDVに記録されている区切りのことで、本の「章」に当たります。チャプターやトラックナンバーが記録されているディスクにはジャケットに表示があります。



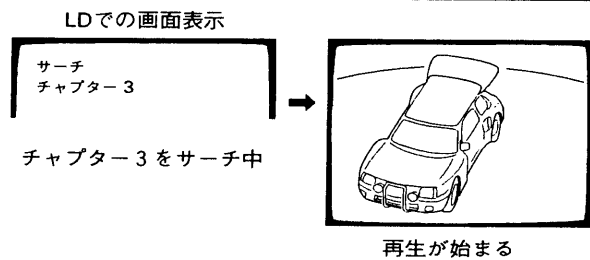
チャプターナンバーやトラックナンバーを指定して探す

例：LDのチャプター3の初めから見る
<ダイレクトサーチ>

数字ボタンの3を押す。

<ノーマルサーチ>

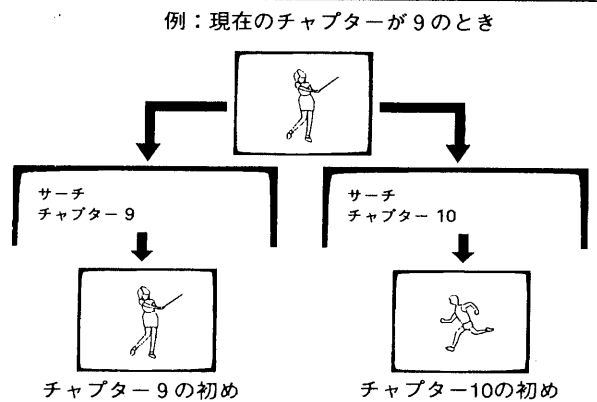
フレームナンバーまたはタイムナンバー表示のときはもう一度押す。



リモコンの再生ボタン▶を押すと：
サーチ前の状態に関係なくCAVディスクでは静止画再生になり、CLVディスクではふつうの再生が始まります。前面の再生/一時停止ボタン▶/■では、サーチ前の状態になります。

チャプターやトラックの初めに戻る・次へ進む

1回押すと現在のチャプターまたはトラックの初めに戻ります。画像が出る前に次々押すと、前のチャプター、その前のチャプターまたはトラックへ戻り、再生を始めます。



数字ボタンを押し間違えたとき：
クリアーボタンを押し、正しい数字ボタンを押します。

現在のチャプターやフレームナンバー、タイムナンバーを知るには：
表示窓を見ます。リモコンの画面表示ボタンを押して、画面に表示することもできます。

チャプターナンバーが10以上のときは：
+10や0ボタンを使います。
(例) 17のとき：+10、7
30のとき：+10、+10、+10、0

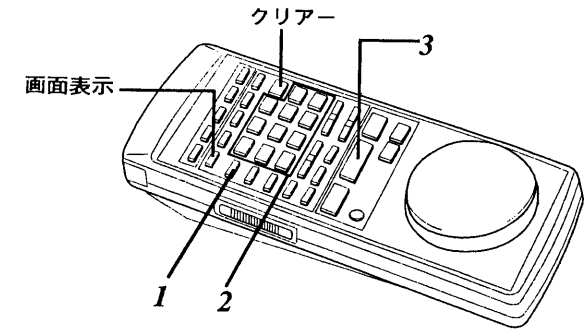
サーチを途中で止めるには：
サーチ中にクリアーボタンを押します。

ご注意：
● TOC付きディスクの場合、ディスクに記録されている以上のチャプターナンバーは指定できません。
● TOCのないディスクの場合、ディスクに記録されている以上のチャプターナンバーを指定すると、ディスクの終わりでポーズまたは静止画になります。(“0”を指定すると、ディスクの初めから再生します。)
● チャプターが記録されていないディスクでは、チャプターサーチはできません。再生中の画面にはフレームまたはタイムナンバーしか表示されません。

見たい場面を探す

時間で探す (長時間ディスクCLVのみ)ータイムナンバーサーチ

タイムナンバーとはCLVディスクの記録されている再生経過時間のことです。
タイムナンバーを指定して、見たい場面を探します。

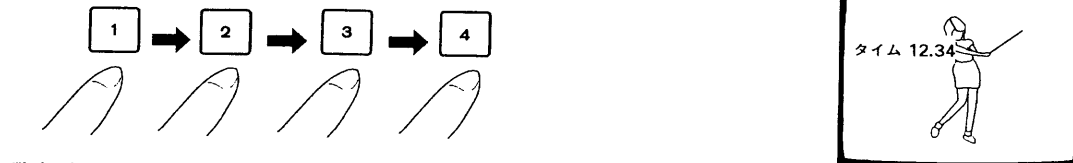


例 12分34秒の画像を探すには：

1 チャプター/タイムボタンを押す。

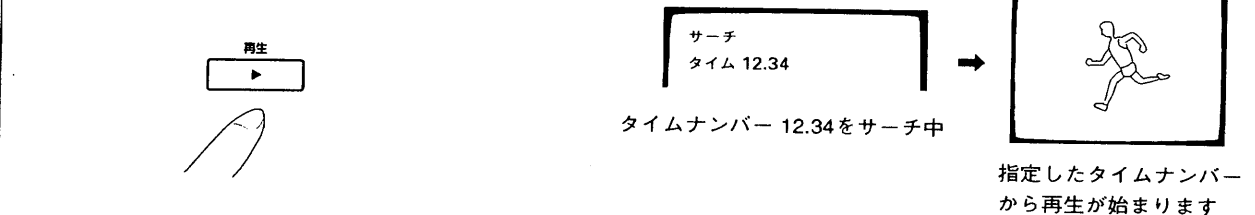


2 数字ボタン 1、2、3、4を押す。



数字ボタンを押し間違えたときは：
クリアーボタンを押して表示を“0.00”にしてから正しい数字(秒付きのディスクは4ケタ、秒なしディスクは2ケタ)を押し直してください。

3 再生ボタン▶を押します。



現在のチャプターとタイムナンバーを知るには：
表示窓を見ます。リモコンの画面表示ボタンを押してこれらのナンバーを画面に表示することもできます。

タイムナンバーの指定に使える数字ボタンは：
0~9のボタンが使えます。+10ボタンは使えません。

タイムナンバーサーチをやめるには：
サーチ中にクリアーボタンを押します。

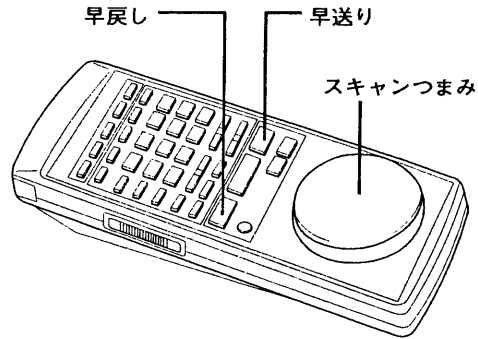
ご注意：
● 秒の記録されていないディスクでは“2ケタ”で指定してください。
● ディスクに記録されている以上のタイムナンバーをサーチすると、ディスクの終わりでポーズになります。

見たい場面を探す 早送り・早戻し・スピードスキャン

スキャンつまみ

つまみを回している間だけ、早送りや早戻しの画面が見られます。

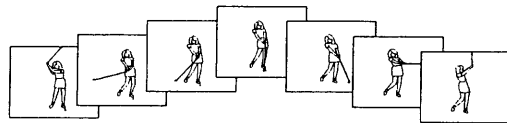
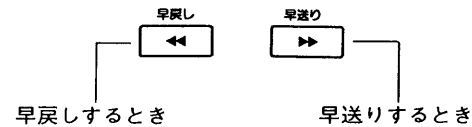
スキャンつまみを回す角度によって3段階に切り換わります。最初は画面が乱れないクリアスキャンになります。もう少し回すと、ゆっくりとスキャンし、さらに回すと高速でスキャンします。ただしCDV (ビデオパート) では高速のスキャンはできません。



早送り/早戻しボタン

ボタンを押している間だけ早送りや早戻しの画面になります。

- 画面表示のオン/オフによってスキャンモードは異なります。目的に合わせて画面表示ボタンを切り換えてください。
- 画面表示していないとき：画面の乱れないクリアスキャンになります。
- 画面表示をしているとき：初めはやや速めにスキャンし、2秒後高速にスキャンします。



クリアスキャンについて：

CLVディスクでも画面の乱れない早送りができます。ただし、画面の映像は一瞬途切れますが、故障ではありません。

ディスクの始めまでスキャンすると：
ふつうの再生が始まります。

ディスクの終わりまでスキャンすると：
LDではディスクの終わりでポーズになります。
CDVのビデオパートの終わりまでスキャンすると、オーディオパートをサーチし、トラック1から再生します。

早送り・早戻し中の音声は：

聞こえません。ただし、デジタル音声付きディスクのデジタル音声再生しているときは、クリアスキャンすると、小さな音が出ます。

標準ディスクCAVについてのご注意：

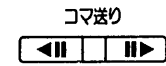
スキャン中、画面にノイズが入ることがありますが、故障ではありません。

長時間ディスクCLVについてのご注意：

- スキャンの速さによっては、スキャン中は色が消えたり画像が乱れることがあります。
- ディスクの内周と外周ではスキャン速度が異なります。

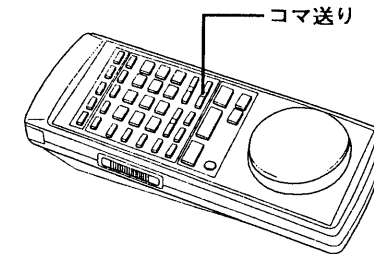
静止画/コマ送り (標準ディスクCAVのみ) ー スティル/ステップ

画像を止めてみるにはー静止画



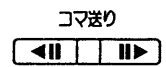
どちらかのボタンを押します。

静止画になります。ふつうの再生に戻すには、再生ボタン▶を押します。



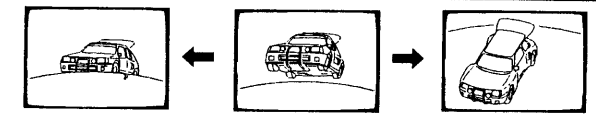
画像を1コマずつ送ってみるにはーコマ送り

1.



静止画にします。

2.



押すごとに1コマずつ前へ戻ります。

押すごとに1コマずつ先へ進みます。

静止画、コマ送り中の音声は：聞こえません。

押し続けると連続してコマ送りができます。ふつうの再生に戻すには、再生ボタン▶を押します。

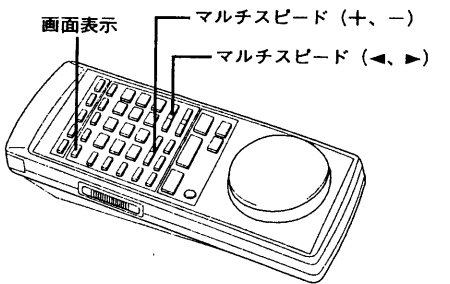
再生の速さや向きを変えるには (標準ディスクCAVのみ) ー マルチスピード

向きを変えるには

逆方向に再生するとき — 正方向に再生するとき



逆方向の再生でディスクの始めに戻ったり、正方向の再生でディスクの終わりまでくると、静止画になります。ふつうの再生に戻すには、再生ボタン▶を押します。



速さを変えるには

遅くするとき — 速くするとき



ふつうの再生に戻すには、再生ボタン▶を押します。
画面表示ボタンを押すと選んでいる速さが表示されます。

速い ↑ ↓ 遅い

スピードの表示	速さ
x3	ふつうの再生の3倍の速さ
x2	ふつうの再生の2倍の速さ
x1	ふつうの再生の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
1/4	ふつうの再生の1/4の速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/16	ふつうの再生の1/16の速さ
1/30	ふつうの再生の1/30の速さ
1/90	ふつうの再生の1/90の速さ

自動的に静止画になってしまった：

ディスクによっては、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがああります。このようなディスクをx1、1/2、1/4、1/8、1/16、1/30、1/90のいずれかのスピードで再生すると、ピクチャーストップコードで指定されたフレームで自動的に静止画となります。そのときは、再生ボタン、マルチスピードボタンで画面を動かしてください。自動的に静止画にさせたくない場合は、前面パネルの再生/一時停止ボタンを約2秒間押し続け、表示窓のPSCインジケータを点灯させます。静止画にせずに連続して見るができます。

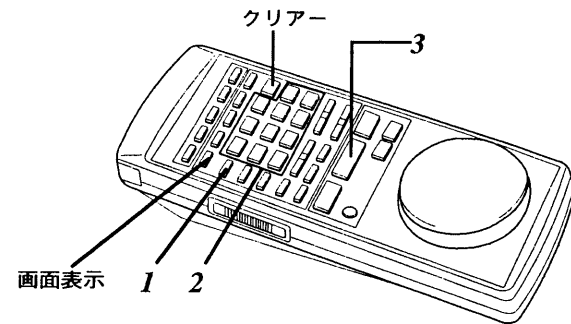
あれ？音が聞こえない
マルチスピード再生中は音が聞こえません。

初めてマルチスピードボタンを押すと：
自動的に1/4の速さが選ばれます。

見たい場面を探す

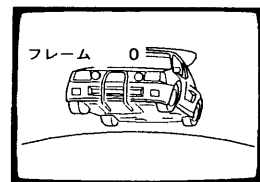
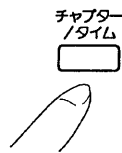
画面で探す (標準ディスクCAVのみ) - フレームサーチ

フレームとは、CAVに録画されている画像の1枚1枚のことです。フレームナンバーはこれらの画像の最初の1枚から最後の1枚までを、通しナンバーで記録した番号をいいます。フレームナンバーを指定して見たい場面を探します。

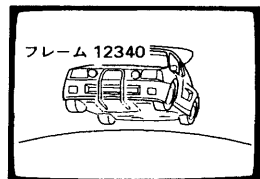
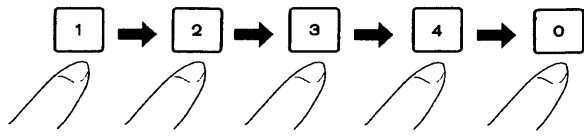


例 フレームナンバー12340を探すには：

1 チャプター/タイムボタンを押す。

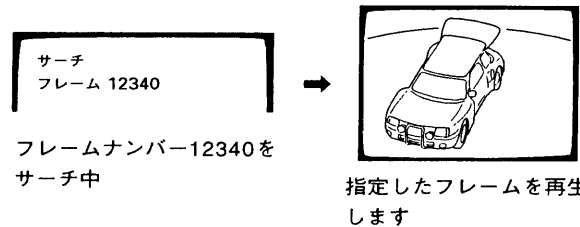
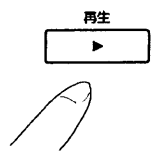


2 数字ボタンの1、2、3、4、0を押す。



数字ボタンを押し間違えたときは：
クリアーボタンを押して表示を“0”にしてから正しい数字
(5ケタ) を押し直してください。

3 再生ボタン▶を押します。



- 再生ボタン▶では、フレームサーチ後は静止画になります。その後再生ボタン▶を押すとふつうの再生になります。
- 再生/一時停止ボタン▶/||ではフレームサーチ後は、サーチする前の状態になります。

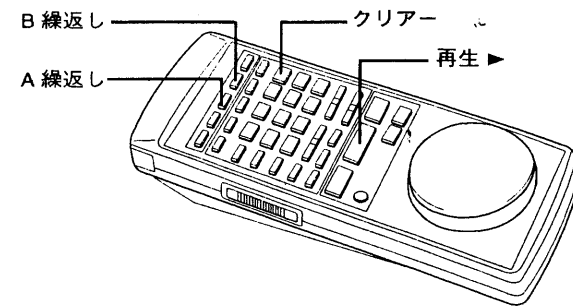
フレームサーチをやめるには：
サーチ中にクリアーボタンを押します。

ご注意：
ディスクに記録されている以上のフレームナンバーをサーチすると、ディスクの終りでポーズになります。(“0”を指定するとディスクの初めから再生します。)

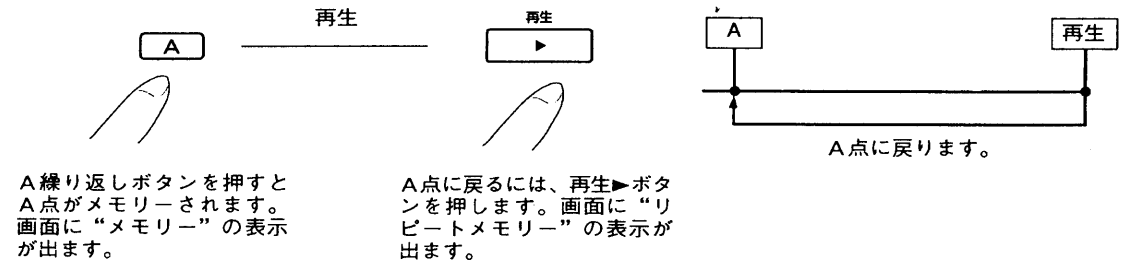
現在のチャプターとフレームナンバーを知るには：
表示窓を見ます。リモコンの画面表示ボタンを押してこれらのナンバーを画面に表示することもできます。

フレームナンバーの指定に使える数字ボタンは：
0~9のボタンが使えます。+10ボタンは使えません。

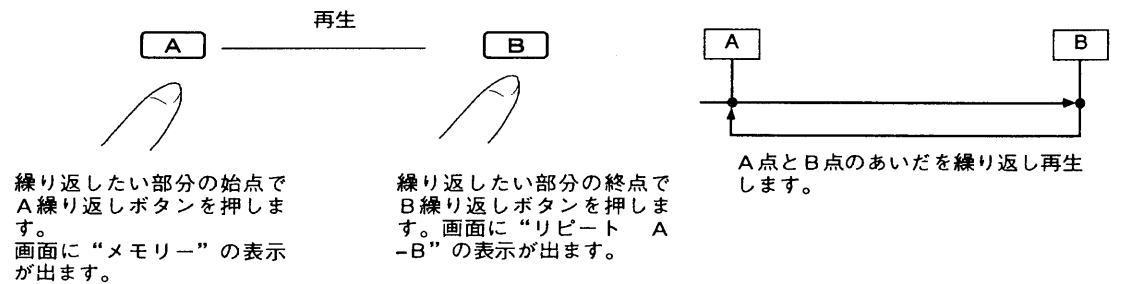
見たい場面/聞きたい曲だけを見る・聞く



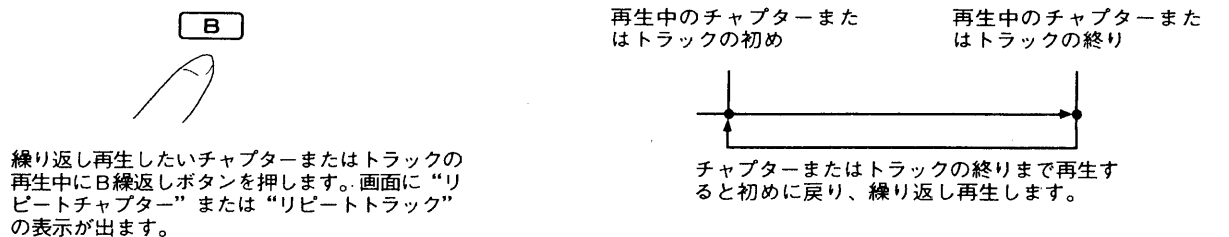
後でもう一度再生を始めたいところに戻るには - メモリーリピート



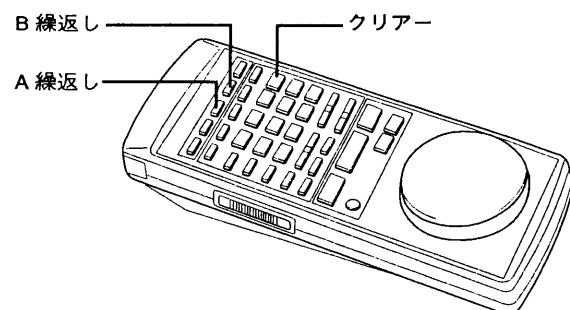
指定した区間を繰り返し再生するには - A-Bリピート



再生中のチャプターやトラックを繰り返し再生するには - チャプター/トラックリピート



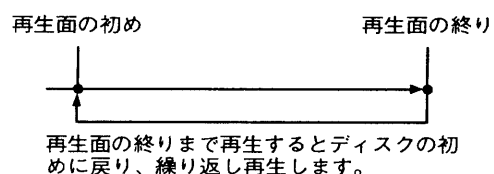
繰り返して見る・聞くーリピート再生



ディスクの片面すべてを繰り返して見る・聞くにはー片面リピート

B

B 繰り返しボタンを2回押します。画面に“リピートサイドーA (B)”の表示が出ます。



プログラムを繰り返して見る・聞くにはープログラムリピート

B

プログラム再生中にB 繰り返しボタンを押します。

プログラムしたチャプターやトラックをプログラムの順に繰り返して再生できます。

- プログラムについては35ページをご覧ください。

リピート再生から抜け出すには：
クリアーボタンを押します。リピートモードは解除されますが再生はそのまま続きます。

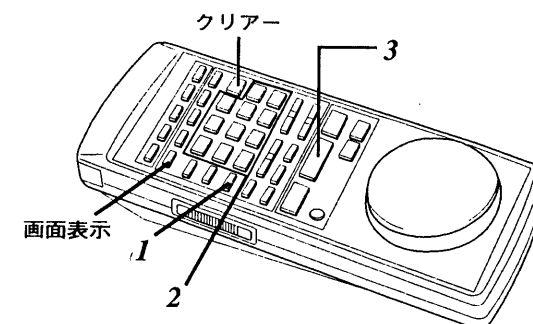
チャプターナンバーのないLDでは：
チャプターリピートはできません。このようなディスクでは、繰り返しボタンを1回押すと片面リピートになります。

現在の再生モードを確認するには：
リモコンの画面表示ボタンを押して、再生モードを画面に表示することができます。

見たい場面／聞きたい曲だけを見る・聞く
チャプターや曲をプログラムするープログラム再生

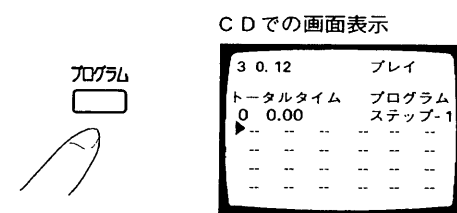
再生したいチャプター (LD) やトラック (CDV/CD) を好きな順序で再生できます。最高24のチャプター／トラックがプログラムできます。

- 画面を見ながらプログラムすると、手順や内容がよくわかります。



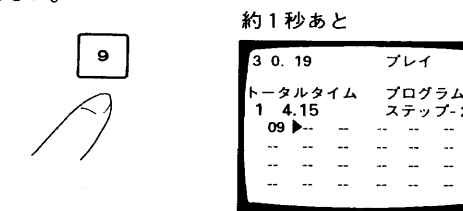
例：CDをトラック9、7、18の順でプログラムする。

1 プログラムボタンを押す。

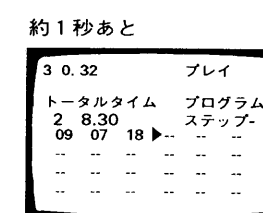
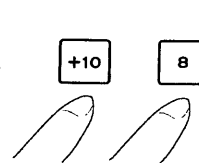
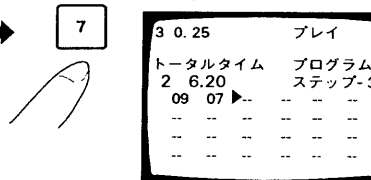


2 数字ボタンの9、7、+10、8を押す。

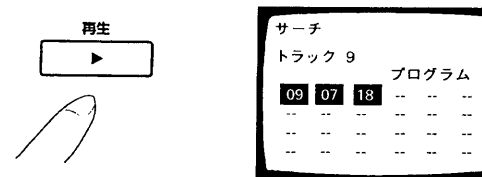
数字ボタンを押し間違えたとき：
クリアーボタンを押してから正しい数字ボタンを押してください。



約1秒あと



3 再生ボタン▶を押す。



プログラムされた最初のトラック (チャプター) を探し、再生を始めます。この例では、トラックナンバー9からプログラム再生が始まります。プログラムしたすべてのトラック (チャプター) の再生が終わると停止状態になります。

前または次のプログラムに移るには：

- スキップボタン◀◀、▶▶を押します。

プログラム再生を途中で止めるとき：

- 前面のストップボタンかリモコンの停止／取出しボタンを押します。
- または、リモコンのクリアーボタンを押します。

プログラムの内容を消すには：

- オープン／クローズボタンを押し、ディスクテーブルを開けます。
- または、停止状態でクリアーボタンを押します。

ポーズ (一時停止) をプログラムすると：

ポーズをプログラムしておく、録音するときにたいへん便利です。

- テープの両面に録音するとき、片面に録音する最後のトラック／チャプターのあとにポーズをプログラムしておく、一時停止のときにテープの録音面を替えられ、録音ミスを防げます。
- ポーズ状態のとき、ナレーションを吹き込んだり、無録音部分 (サーチ操作などに必要) が作れます。

ポーズ状態を解除するには、一時停止ボタンをもう一度押します。プログラム再生が引き続き始まります。録音を再開してください。

見たい場面／聞きたい曲だけを見る・聞く チャプターや曲をプログラムするープログラム再生

プログラム内容を確認するには

プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとにプログラムボタンを押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度プログラムボタンを押すと、プログラム内容表示が消えます。

プログラムした内容を変えるには

プログラムしたチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズを削除するには：

1. プログラムボタンを押します。
2. スキップボタン◀◀、▶▶を押して、▶（カーソル）を削除するチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズの左側へ移します。
3. クリアーボタンを押します。
4. プログラムボタンを押して完了です。プログラムボタンの代わりに再生ボタン▶を押すと、最初にプログラムしたチャプターやトラックからプログラム再生を始めます。

プログラムしたチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズを訂正するには：

1. プログラムボタンを押します。
2. スキップボタン◀◀、▶▶を押して、▶（カーソル）を修正するナンバーやポーズの左側へ移します。
3. 数字ボタンを押して、新しくプログラムするナンバーを表示させます。ポーズをプログラムするときは、一時停止ボタンを押します。
4. プログラムボタンを押して完了です。プログラムボタンの代わりに再生ボタン▶を押すと、最初にプログラムしたチャプターやトラックからプログラム再生を始めます。

● 再生中のチャプターやトラックの削除、訂正はできません。

一時停止をプログラムするには：

手順2に移ったら、プログラムしたいところで一時停止ボタンを押します。

ご注意：

- プログラムの1番目（ステップ1）、または2回続けてポーズのプログラムはできません。
- 最後のステップにポーズをプログラムしても、ポーズ状態にはなりません。

プログラムしたポーズの表示：

画面では“II”、表示窓では“PA”が表示されます。

総再生時間の表示について：

CD、CDVのプログラムでは：プログラムトータル時間を表示します。プログラムのトータル時間が100分00秒をこえると、表示窓には、100分の位は表示しませんが、テレビ画面では表示します。また、33番以上の曲をプログラムすると、プログラムトータル時間は表示しません。

ご注意：

- プログラム再生中に早送りするとプログラムされていないチャプターやトラックでも早送り再生します。早送り再生を止めると、次にプログラムされているチャプターやトラックからプログラム再生を続けます。早戻しの場合は、早戻しを始める直前に再生していたチャプターやトラックの初めに戻ってプログラム再生を続けます。

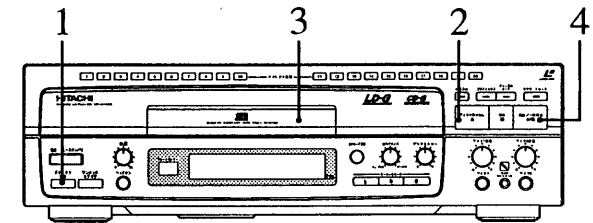
表示窓でプログラム内容を見るには：

- プログラムしたチャプターやトラックナンバーがビジュアルガレンダーに表示されます。

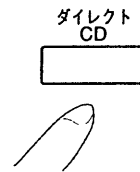
CDプレーヤーとして使用するーダイレクトCD

ダイレクトCDには、次のような特長があります。

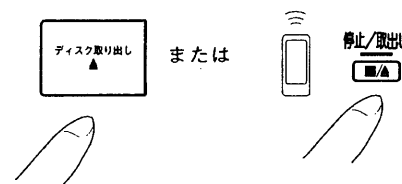
- 映像回路を停止するので、より原音に近いビュアなサウンドが楽しめます。テレビ画面には文字表示等はしません。
- 通常の状態に比べ再生を開始する時間が短縮されます。



1. ダイレクトCDボタンを押す。
ダイレクトCDボタンが点灯します。

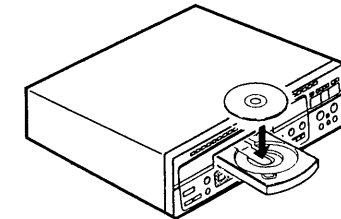


2. CDディスクテーブルを開ける。

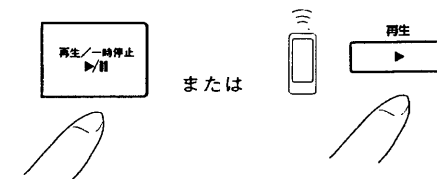


- CDディスクテーブルだけ出てきます。

3. CDディスクテーブルにディスクをセットする。



4. 演奏を始める。



ダイレクトCDモードの解除について：

- ダイレクトCDボタンをもう一度押します。CDディスクテーブルが出ているときは、閉じます。
- LDを再生すると、自動的に解除します。

CDの再生を止めてLDをセットするには：

ダイレクトCDモードを解除してください。解除しないと、ディスクテーブルにLDをセットできません。解除後、通常通り操作してください（16, 17ページ）。

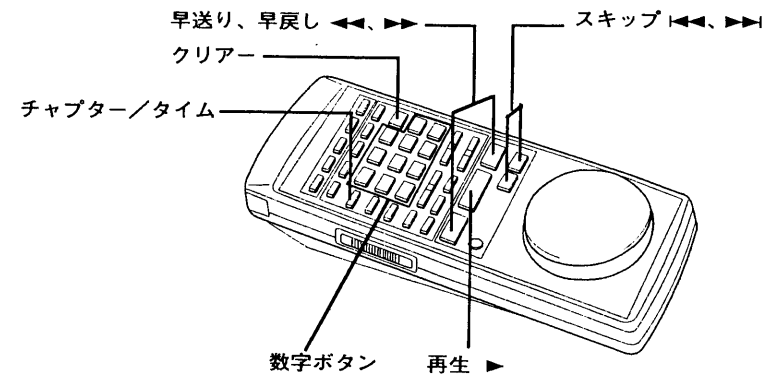
画面表示について：

画面表示ボタンを押したり、プログラムやエディット入力モードになると映像回路は元に戻ります。画面表示をやめたり、入力を完了すると再び映像回路を停止します。

ご注意

- LDの再生中、あるいは停止中にダイレクトCDボタンを押しても、ダイレクトCDモードにはなりません。ただし、CDVでは、ダイレクトCDボタンを押して、ダイレクトCDモードにすることができます。
- LD用のディスクテーブルが出ている時にもダイレクトCDモードにすることができますが、LDを再生した場合には自動的にダイレクトCDモードを解除します。またLD用ディスクテーブルを引き込んでいる途中はダイレクトCDボタンが点滅します。このときにオープン/クローズボタンを押すと、ダイレクトCDモードは解除され、LD用のディスクテーブルが出てきます。
- ダイレクトCDモードのままLDを再生すると、通常の場合より映像と音声が出るまでの時間が少し長くなります。
- CDV（ビデオパート）の再生をすると映像回路は元に戻りますが、ダイレクトCDモードは解除しません。CDV（オーディオパート）を再生すると再び映像回路を停止します。

聞きたい曲を探す一トラックサーチ



<p>曲番（トラックナンバー）を指定して探すには一トラックナンバーサーチ</p> <p>聞きたい曲番の数字を押します。</p>	<p>好きなどころから聞くには一早送り、早戻しのマニュアルサーチ</p> <p>再生中</p> <p>早戻しするとき 早送りするとき</p> <p>指を離したところから、ふつうの再生になります。</p>
<p>曲の頭出しをするには</p> <p>再生中</p> <p>一度押すと、演奏中の曲の始めに戻ります。その後押すたびに、前の曲、その前の曲に戻ります。</p> <p>押すたびに、次の曲、その次の曲へ進みます。</p>	

曲番が10以上のときは：
+10や0のボタンを使います。
(例) 14のとき：+10 → 4
29のとき：+10 → +10 → 9

数字ボタンを押し間違えたとき：
クリアーボタンを押して、最初から押し直します。

トラックナンバーサーチのご注意：
ディスクに記録されていないトラックナンバーを指定すると、トラックサーチはできません。

早戻しのマニュアルサーチでディスクの最初に戻ると：
ふつうの再生が始まります。

早送りのマニュアルサーチでディスクの終わりまで行くと：
ポーズの状態になります。

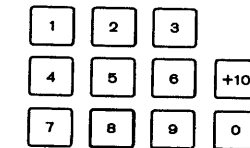
マニュアルサーチで音が聞ける？
小さな音が出ます。

曲番と演奏時間を指定して探す一トラックタイムサーチ

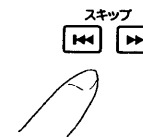
1 チャプター/タイムボタンを押す。



3 聞きたいところの演奏時間（その曲の始めからの演奏経過時間一トラックタイム）を数字ボタンで押す。



2 スキップ ◀▶ ボタンを押して聞きたい曲番を表示する。



4 再生ボタン ▶ を押す。

指定した曲の指定したトラックタイムから演奏が始まります。



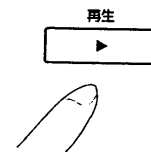
ディスクの始めからの演奏経過時間（ABS時間）で探す一ABSタイムサーチ（CDのみ）

1 チャプター/タイムボタンを押して“Ab”を表示窓に表示する。（画面には“ABS”が表示されます。）

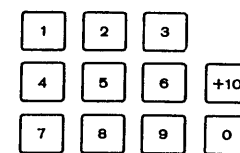


3 再生ボタン ▶ を押す

指定した演奏時間から演奏が始まります。



2 ディスクの始めから聞きたい部分が始まるまでの演奏時間を数字ボタンで押す。



指定した時間内で再生可能な曲をプログラムする

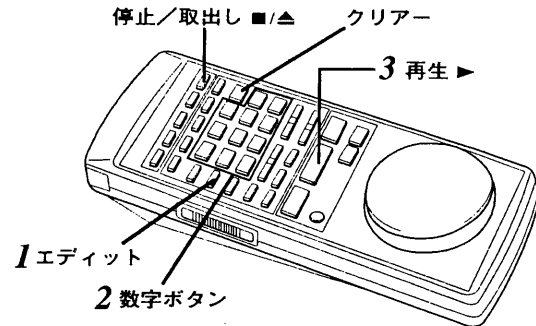
テープの録音時間を指定するとテープA面、B面に分けて曲をプログラムします。

コンピュータプログラムエディット:

指定した時間内でできるだけ近くなるように、ディスクに入っている曲の順番を入れ換えてプログラムします。テープを無駄なく使えます。

オートプログラムエディット:

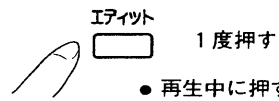
ディスクに入っている曲順にプログラムします。



● TOC付きLDでは、再生ボタン▶を押して再生中に操作します。

コンピュータプログラムエディット

1 エディットボタンを1度押す。



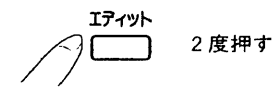
●再生中に押すとポーズ状態になります。

コンピュータプログラムエディットになります。

ポーズ	
トラック 1	エディット
タイム 0.00	コンピュ
-- -- --	-- -- --
-- -- --	-- -- --
-- -- --	-- -- --

オートプログラムエディット

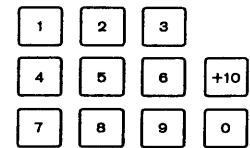
1 エディットボタンを2度押す。



オートプログラムエディットになります。

ポーズ	
トラック 1	エディット
タイム 0.00	オート
-- -- --	-- -- --
-- -- --	-- -- --
-- -- --	-- -- --

2 時間(分)を数字ボタンで指定する。



<46分と指定した場合>

コンピュータプログラムエディットのとき:

ポーズ	
A面用にプログラムした 曲数と総再生時間	テープ A: 5 22.53
B面用にプログラムした 曲数と総再生時間	テープ B: 5 22.45
A面用にプログラムされ たトラックナンバー	01 03 04 10 09
B面用にプログラムされ たトラックナンバー	02 05 06 08 10
	-- -- -- -- --
	-- -- -- -- --

ポーズ (A面の最後にプログラムします。)

オートプログラムエディットのとき:

ポーズ	
A面用にプログラムした 曲数と総再生時間	テープ A: 5 21.42
B面用にプログラムした 曲数と総再生時間	テープ B: 4 20.45
A面用にプログラムされ たトラックナンバー	01 02 03 04 05
B面用にプログラムされ たトラックナンバー	06 07 08 09
	-- -- -- -- --
	-- -- -- -- --

ポーズ (A面の最後にプログラムします。)

●表示窓では、A面用プログラムとB面用プログラムを交互に表示します。

コンピュータプログラムエディット

3 再生ボタン▶を押す。



A面用にプログラムされた曲が演奏されます。A面用プログラムの最後でポーズ状態になります。(テープを裏返すなどして、B面の初めの部分から録音を開始できるようにします。)再生ボタン▶を押すとテープB面用にプログラムされた曲が演奏されます。

プログラム内容を消すには:
クリアーボタンを押します。

希望の曲からプログラムするには:

- プログラムの1曲目を指定します。
- 1. エディットボタンを押す。
- 2. 1曲目にプログラムする曲をスキップボタン(◀▶)で選ぶ。
- 3. 時間(分)を数字ボタンで指定する。

指定した時間に1曲も入らないときは:
プログラムされません。

ご注意:

- 33曲以上入っているディスクでは、正しくプログラムされない場合があります。
- コンピュータプログラムエディットは、指定した時間により近くなるようにプログラムするものですが、オートプログラムエディットより近くない場合があります。
- LDでは、チャプター0(ゼロ)はプログラムできません。また、チャプター1がプログラムされた場合、実際の再生時間が少なくなりますが、故障ではありません。
- LDでは、一度再生ボタン▶を押さなければエディットできません。

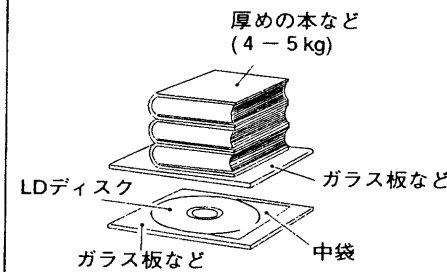
故障かな・・・とお考えの前に

故障かな?…と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買上の販売店か別紙「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

症状	考えられる原因	処置
1. ディスクテーブルが出てこない。	● 電源が入っていない。	● 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをオンにする。
2. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ● プレーヤーの内部が結露している。 ● ディスクが極端に変形（そりなど）している。	● ディスクをきれいにする。 ⇒5ページの「お手入れ」を参照してください。 ● 溝に合わせて正しくセットする。 ● ディスクを取り出し、電源を入れたまま約1-2時間（水滴が消えるまで）待って使用する。 ● 変形したディスクは使えない。 LDディスクの変形はあるていど直すこともできます。症状8を参照してください。
3. テレビ放送が映らなくなった。 (RFコンバーターユニットVM-RF80を使用している場合) UHF放送が映らない	● VHFアンテナがコンバーターユニットにつながっていない。 ● プレーヤーの電源が入っている。 ● VHFとUHFが混合されておこなわれているケーブルをコンバーターユニットにつないでいる。	● VHFアンテナをコンバーターユニットのアンテナ端子につなぎ、VHF出力端子とテレビをつなぐ。 ● 電源スイッチをオフにする。 ● VHFとUHFを分岐し、VHFはコンバーターユニットにつなぎ、UHFはテレビにつなぐ。
4. リモコン操作ができない。	● プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光窓との角度がありすぎる。 ● 電池が消耗している。 ● プレーヤーのリモコン受光窓とリモコンの間に障害物がある。	● リモコン受光窓からの距離は約7m、角度は約30°の範囲で操作する。 操作できる範囲が極端にせまくなった場合には、リモコンの電池を取り替えてください。 ● 電池を交換する。 2個とも新しいものと交換してください。 ● 障害物を取り除かりモコン操作の場所を変える。
5. リモコン操作をするとテレビが誤動作する。	● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	● テレビと本機を離すか、ディスク再生中はテレビのリモコン受光部に覆いなどをしてリモコンの信号をテレビが受けないようにする。

● 落雷、静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを入/切するか、電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

<レーザーディスク再生時>

症状	考えられる原因	処置
6. ディスクは回転しているが映像が出ない、または映像は出るが画質が悪く乱れる。	● テレビ（カラーモニター）の電源が入っていない。 ● 接続が間違っている。 ● 接続プラグの差し込みが不十分、または、外れている。	● 電源を入れる。 ● 正しく接続する。 ● しっかりと差し込む。
7. 画面が上下に流れる。（垂直同期が乱れる。）	● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクをきれいにする。 ⇒5ページの「お手入れ」を参照してください。
8. ディスクによって画質が悪い、映像が乱れる。	● ディスクが極端に変形（そりなど）している。	● そりを直す。（LDのみ） LDディスクを 中袋に入れてガラスなどの平な板ではさみ、4-5kgの重さをかけて1日ほどそのままにしてください。そりなどが軽減されることがあります。 厚めの本など (4-5kg)  LDディスク ガラス板など ガラス板など 中袋
9. 音声は波打ったようになる。	● □×マークのついていないディスクをCXシステムをオンにして再生している。	● リモコンのD/A/CXボタンを押す。（テレビ画面にCX OFF表示がでます）
10. 音が出ない。	● 静止画・コマ送り再生では音が出ない。	● 音を聞くとときには再生ボタン▶を押して通常再生にする。
11. 静止画の一部がブレる。	● 標準ディスクでも動きの激しい場面では、静止画の一部がブレることがあります。プレーヤーの故障やディスクの不良ではありません。	
12. チャプタースキップ、チャプタープログラム、チャプターナンバーサーチができない。	● チャプターナンバーの記録されていないディスクを再生している。	● チャプターナンバーの記録されていないディスクでは、チャプターを利用した機能は働きません。
13. サーチ時間が長い。（約40秒以上かかる。）	● サブコードの読み取りに時間のかかるディスクがある。（故障ではありません。）	● 極端に時間がかかる場合には、リモコンのクリアボタンを押す。 この場合、目標のサーチ場面とわずかにズレることがあります。
14. ディスクによってスタート時間が長いものがある。またはスタートしない。	● サブコードの読み取りに誤りがある場合がある。（故障ではありません。）	● 本体の停止ボタン■を押して再生を止め、再生/一時停止ボタン▶ を押してもう一度再生を始める。一回で再生が始まらない場合は、何回か繰り返す。

故障かな・・・とお考えの前に

症状	考えられる原因	処置
15. タイムナンバーサーチのとき、指定したナンバーと違う場面をサーチする。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの画質表示ボタンを押して(秒)まで記録されたディスクが(分)までのディスクかを確認し、操作し直す。 (例) 12分サーチ 秒なしディスク: 	<p>の手順で操作する。</p>

<コンパクトディスク再生時>

16. 再生を始めてもすぐに止ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの裏表が逆にセットしてある。 ディスクが極端に汚れている。 ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> レーベル面を上にしてセットする。 ディスクをきれいにする。 ⇒5ページの「お手入れ」を参照してください。 溝にそって正しくセットする。
17. 音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ステレオアンプとの接続が間違っている。 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 接続プラグや端子が汚れている。 ポーズモードになっている。 ステレオアンプの操作が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続する。 しっかりと差し込む。 柔らかい布で汚れを拭き取ってから接続する。 再生ボタン▶を押す。 正しく操作する。 ⇒(アンプの取扱説明書を参照してください。)
18. 音が歪む。	<ul style="list-style-type: none"> ステレオアンプのPHONO入力端子と接続している。 接続プラグや端子が汚れている。 接続プラグの差し込みかたが不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> アンプのAUX、CD、LD、TUNERなどの端子に接続する。 柔らかい布で汚れを拭き取ってから接続する。 しっかりと差し込む。

<カラオケ機能時>

症状	考えられる原因	処置
19. ワンタッチカラオケボタンを押しても歌手の声が小さくならない。	<ul style="list-style-type: none"> CD、CDVで再生ディスクと音声モードが合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声モードをステレオにして、ワンタッチカラオケボタンを押す。 歌手の声が中央に定位していないものは、小さくなりません。
20. 音多ディスクを再生してもボーカルが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ワンタッチカラオケボタンがONになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワンタッチカラオケボタンをOFFにする。
21. カラオケモード(マイクを差した状態)なのに1曲停止しない。	<ul style="list-style-type: none"> 1曲停止は、一回の選曲操作に対して一回しか行ないません。 	<ul style="list-style-type: none"> 選曲し直す。
22. 音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力ボタンを押してインジケータを消灯させてください。
23. キーコントロールが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> マイクが接続されていない。 グラフィックスチャンネルモードがオンで(スクロールをした後)キーコントロールが働かない。 	<ul style="list-style-type: none"> マイクをマイク1またはマイク2端子に接続する。 グラフィックスチャンネルモードをオフにする。

<グラフィックス機能時>

症状	考えられる原因	処置
24. グラフィックスボタンを押してもグラフィックスの映像がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにグラフィックスが記録されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> LD-G マークまたは (GRAPHICS) マークが付いたディスクを使用する。
25. 再生中にグラフィックス映像の一部が乱れたり、文字が欠けたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに傷がある。 ディスクが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷のないディスクを使用する。 ディスクの汚れを拭き取る。 (→5ページ)
26. 早送り、早戻し、一時停止、サーチ、ワンスモアをしたらグラフィックスの映像が乱れたり、文字が欠けたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 操作後しばらくすると正しいグラフィックス映像になります。 停止ボタン■を押して再生を止め、もう一度再生を始める。 	

仕様

一般

形式 レーザーディスクシステムおよびコンパクト
ディスクデジタルオーディオシステム
使用レーザー 半導体レーザー：波長780 nm
電源 A C 100V、50/60Hz
消費電力 35 W
重量 7.6 kg
外形寸法 430 (幅) × 391 (奥行) × 122 (高さ) mm
許容動作温度 +5°C ~ +35°C
許容動作湿度 5%~85% (結露のないこと)

使用ディスク

<レーザーディスク>

標準ディスク (CAV) 最大再生時間

30 cm 両面最大1時間再生可

20 cm 両面最大28分再生可

片面最大14分再生可

長時間ディスク (CLV) 最大再生時間

30 cm 両面最大2時間再生可

20 cm 両面最大40分再生可

片面最大20分再生可

回転数

30 cm標準ディスク 1800 rpm

30 cm長時間ディスク 1800 rpm - 600 rpm

<コンパクトディスク>

直径 12 cm、8 cm

厚さ 1.2 mm

回転方向 (読み取り面) 反時計方向

線速度 1.2~1.4m/sec

最大再生時間 12 cm : 74分/8 cm : 20分

<ビデオ付きコンパクトディスク>

直径 12 cm、8 cm

厚さ 1.2 mm

回転方向 (読み取り面) 反時計方向

線速度 オーディオ部 : 1.2~1.4m/sec

ビデオ部 : 11~12m/sec

最大再生時間 ビデオ部 : 5分再生可 (CLV)

オーディオ部 : 20分再生可 (デジタル)

ビデオ出力<2系統>

出力レベル 1 Vp -p (75%負荷時、同期負)

出力端子 ビンジャック

オーディオ出力<2系統>

出力レベル

アナログ音声出力 200m V rms (1kHz、40%)

デジタル音声出力 200m V rms (1kHz、-20 dB)

チャンネル数 2チャンネル

その他の端子

マイク入力 (2系統) 標準ジャック

ヘッドホン出力 標準ステレオジャック

VHFアダプター VM-RF80 (別売) 接続用

マイクコントロール入力 ミニジャック

外部入力 ビンジャック

付属品

リモコン (VIP-RM50G) 1

単4乾電池 (R03/UM-4) 2

オーディオコード 1

ビデオコード 1

取扱説明書、保証書、ご相談窓口一覧表 各1

本体機能

- LD/CDグラフィックス対応
- ダイレクトCD
- ディスプレイ表示、ビジュアルカレンダー表示
- コンピューオートプログラムエディット機能
- ラストメモリー
- キーコントロール、サラウンド、ワンタッチカラオケ、デジタルエコー、イントロスキップ
- デジタル音声付きLD対応
- サブコードグラフィックス対応

リモコン機能

	機能	標準ディスク (CAV)	長時間ディスク (CLV)	CDV	CD
基本機能	片面再生	○	○	○	○
	一時停止	○	○	○	○
	停止	○	○	○	○
サーチ	早送り・早戻し	○	○	○	○
	チャプター/トラックスキップ	○	○	○	○
	ダイレクトチャプター/トラックナンバーサーチ	○	○	○	○
	フレームナンバーサーチ	○	X	X	X
	タイムナンバーサーチ	X	○	○	○
絶対時間サーチ	X	X	X	○	
プログラム	チャプター/トラックプログラム再生	○	○	○	○
	プログラム修正	○	○	○	○
リピート	A-Bリピート	○	○	○	○
	メモリーリピート	○	○	○	○
	チャプター/トラックリピート	○	○	○	○
	片面リピート	○	○	○	○
	プログラムリピート	○	○	○	○
特殊再生	静止/コマ送り (正、逆)	○	X	X	X
	マルチスピード (正、逆9段階可変)	○	X	X	X
時間表示	経過時間表示	X	○	○	○
	絶対時間 (ABS) 表示	○*1	X	X	○
	一曲残量時間表示	X	X	○	○
	総残量時間表示	○*1	○*1	○	○
	総曲数、総再生時間	○*1	○*1	○	○
その他	CXシステムオン/オフ	○*2	○*2	X	X
	デジタル/アナログ切替	○*3	○*3	X	X
	音声出力チャンネル切替 (ステレオ、1/左、2/右)	○*4	○*4	○*4	○*4
	エディット	○*1	○*1	○	○
	イントロスキップ	○	○	○	○
グラフィックス	○*5	○*5	○*5	○*5	

*1 : TOC付きディスクのみ

*2 : ☒マーク付きディスクのアナログ音声のみ (ただし、ディスクにコードが記録されている場合は自動判別)

*3 : デジタル音声付きディスクのみ

*4 : 標準モードのみ

*5 : グラフィックス対応ディスクのみ

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

仕様

■ 主要なカラオケ機能

カラオケ/標準/外部入力機能時によって使用できる機能が異なります。

機能	カラオケ	標準	外部入力
マイク音声	○	X	○
音多バランス	○	X	○
キーコントロール	○	X	○
デジタルエコー	○	X	○
ワンタッチカラオケ	○	○	○
H i - F i 音多 (H I - F I M P X)	○	X	X
音多 (M P X)	○	X	○
ワンスモア	○	X	X
サラウンド	○	○	○

著作権について

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- したがって、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人 日本音楽著作権協会 (JASRAC)

- 〒105 東京都港区西新橋1-7-13
TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183
- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市菜園1-3-6 農林会館
TEL (0196) 52-3201 (代表) FAX (0196) 52-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・長野・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 東京支部 (業務地域 東京都東部・千葉・茨城)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都西部・山梨)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 第5荒井ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 横浜支部 (業務地域 神奈川)
〒231 横浜市中区日本大通り60 朝日生命横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡)
〒420 静岡市追手町9-22 読売静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594

- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542 大阪府中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北部)
〒542 大阪府中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビル
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島・宮崎)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (0992) 24-6211 (代表) FAX (0992) 24-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074

保証とアフターサービスについて

保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 修理を依頼される前に、42~45ページの「故障かな…とお考えの前に」の項にもとづいてお調べいただき、それでも具合の悪いときは、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- セットの改造は絶対にしないでください。故障の原因になるばかりでなく、安全面での保証ができなくなります。尚、改造された製品については、保障期間中でも、改造セットが原因の事故に関しては、責任を負いかねます。

転居後のアフターサービスについて

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスをうけられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、このプレーヤーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- 購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名 _____ 電話 () _____

購入年月日 _____ 年 月 日 _____

- 万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。
- 形名 = VIP-KY50G
症状 = できるだけ詳しく
道順 = 付近の目印も

索引

アルファベット	
A	
ABS	14
ABSサーチ	2
ABSタイムサーチ	39
AVテレビ	8
C	
CAV	7
CD	6
CDシングル	6
CDディスクテーブル	37
CDV	2
CDVビデオシングル	6
CDV (ビデオ付きコンパクトディスク)	6, 7
CLV	7
CXマーク	18
D	
D/A/CX	19
DSP	2
H	
HI-FI MPX (音多)	20
L	
LD	6, 7
M	
MPX	20, 21
R	
RFアンテナケーブル	9
RFコンバーターユニット	9
T	
TOC	6
TOC付きLD	6
V	
VHFアダプター端子	8, 13
日本語	
ア	
アッテネータースイッチ	8, 13
イ	
イントロスキップ	2, 24
エ	
エコ	23
オ	
オーディオコード	5, 8
オーディオ出力端子	13
オーディオパート	2
音声モード切替ボタン	20, 21
音声	19
音声モード	19
音多	20, 21
音多バランスつまみ	20, 21
カ	
外部入力機能	2
外部入力端子	13
外部入力ボタン	25
画面表示ボタン	14, 37
キ	
キーコントロール	2, 23
曲間演出	2, 15
ク	
グラフィックス	26
グラフィックスチャンネル	27
クリアスキップ	30
コ	
コマ送り	31
コンピュ/オートプログラムエディット	2, 40

サ	
サブコードデコーダ	2
サラウンド	2, 23
シ	
時間表示	14
ス	
スキップ	38
スティル/ステップ	31
ステレオアンプ	8
スピードスキャン	30
セ	
静止画	31
タ	
タイムナンバー	6
タイムナンバーサーチ	29
ダイレクト選曲	2
ダイレクトサーチ	28
ダイレクトCD	2, 37
チ	
チャプタースキップ	28
チャプターナンバー	6
チャンネルモード	26, 27
テ	
ディスクタイム ABS	14
ディスクテーブル	17
デジタル音声付きレーザーディスク	7
デジタル音声付きレーザーマルチオーディオディスク	7
電源コード	13
ト	
トータルタイム	14
トラックサーチ	28
トラックタイムサーチ	39
トラックナンバー	6
トラックナンバーサーチ	38
ノ	
ノーマルサーチ	28
ハ	
ハイファイ音多	20
ヒ	
ピクチャーストップコード	18, 31
ビデオコード	5, 8
ビデオ出力端子	13
ビデオパート	2
フ	
フレームサーチ	32
フレームナンバー	6
プログラム	35, 36
プログラム再生	2
ヘ	
ヘッドホン端子	16
ホ	
ポーズタイマー	18
マ	
マイク音量つまみ	20
マニュアルサーチ	38
マルチスピード	2, 31
ラ	
ラストメモリー	2, 18
リ	
リピート	33, 34
リピート再生	2
リメインタイム ALL	14
リメインタイム TRK	14
ワ	
ワンスモア	24
ワンタッチカラオケ	2, 22

メモ